

北海道古宇郡神恵内村  
文献調査報告書

(案)

収集し情報を抽出した文献・データのリスト

2024年2月

原子力発電環境整備機構

Handwritten text in a cursive script, possibly representing the word "Handwritten" or a similar phrase. The characters are stylized and connected, with a prominent 'H' at the beginning and a 'K' at the end.

## 1 収集し情報を抽出した文献・データのリスト

2

3 北海道古宇郡神恵内村の文献調査において、最終処分法に定められた要件に対応した項目、  
4 地熱資源およびこれらの基礎情報である技術的観点からの検討のうちの地層や岩体、断層など  
5 の分布（地形、地質・地質構造）について、収集し情報を抽出した文献・データの具体名をリ  
6 ストにして次頁以降にまとめた。収集し情報を抽出した文献・データは、項目間の重複を除い  
7 て 687 件であった。

8 なお、地震・活断層、噴火、鉱物資源・地熱資源などの項目別に分けたリストについては、  
9 それぞれの項目に関する説明書の添付資料としている。

10

11 <リストの記載方法>

12 ・著者名，（発表年），タイトル，雑誌や報告書名，巻・号・頁や発行所などの順で記載した。

13 ・ウェブサイトの場合，著者名，タイトル，閲覧日などの順で記載した。

14 ・著者名をアルファベット順で並べ，同じ著者の場合は発表年順で並べた。

15

## A

- Abdelwahed, M. F., Zhao, D. (2007) Deep structure of the Japan subduction zone, *Physics of the Earth and Planetary Interiors*, 162, pp. 32–52.
- 赤松守雄, 山田悟郎, 渡部真人 (1987) 積丹半島から産出する化石について, 北海道開拓記念館調査報告, 26, pp. 3–8.
- 赤松守雄, 山田悟郎, 渡部真人 (1992) 積丹半島の地質学的諸問題, 北海道開拓記念館研究報告, 12, pp. 3–18.
- 赤松守雄 (2003) 北海道の自然史, 北海道出版企画センター.
- 秋葉 力, 成田英吉 (1961) 積丹町美国川上流地質鉍床調査概報, 北海道総合開発計画調査 特殊地帯地下資源開発調査資料 昭和 35 年度 積丹半島地下資源開発調査報告, pp. 13–22, 北海道開発局.
- 秋葉 力, 成田英吉 (1962) II 積丹郡積丹町美国川上流地域鉍床調査報告, 北海道総合開発計画調査 特殊地帯地下資源開発調査資料 昭和 36 年度 積丹半島地下資源開発調査報告, pp. 13–25, 北海道開発局.
- 秋田藤夫 (2014) 北海道における地熱開発調査の現状と課題, 第 52 回試錐研究会講演資料集, pp. 13–21, 北海道立総合研究機構環境・地質研究本部地質研究所.
- Amano, H., Suzuki, S., Sato, M., Yanagida, M. (2018) A new method of terrace analysis to determine precise altitudes of former shoreline, *OKAYAMA University Earth Science Reports*, 25, 1, pp. 31–38.
- 青木かおり, 町田 洋 (2006) 日本に分布する第四紀後期広域テフラの主元素組成  $K_2O-TiO_2$  図によるテフラの識別, 地質調査研究報告, 57, 7/8, pp. 239–258, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 荒井晃作, 岡村行信, 倉本真一, 池原 研, 佐竹健治 (2000) 北海道西方沖の活断層と地震空白域 (3) 積丹半島—宗谷海峡の活断層, 日本地震学会 2000 年度秋季大会講演予稿集, p. 128.
- 浅森浩一, 石丸恒存, 岩月輝希 (2002) 日本列島における火山周辺の酸性地下水分布, サイクル機構技報, 15, pp. 103–111.
- 浅森浩一, 梅田浩司, 石丸恒存, 小松 亮 (2003) 温泉地化学データベースの作成, JNC TN7450 2002-003, 核燃料サイクル開発機構.
- Asamori, K., Zhao, D. (2015) Teleseismic shear wave tomography of the Japan subduction zone, *Geophysical Journal International*, 203, pp. 1752–1772.
- 粟田泰夫 (1998) 日本海東縁部における断層の活動様式, 月刊地球, 20, 8, pp. 466–469.

## B

- 番場猛夫, 松村 明, 斎藤正雄, 沢 俊明, 山田敬一, 五十嵐昭明 (1962) 北海道金属非金属鉍床総覧 III. 古生代後期—第三紀初期の鉍化作用, 地質調査所.

- 番場猛夫, 岡部賢二, 成田英吉 (1971) 後志国岩平峠周辺地域の銅・鉛・亜鉛・マンガン鉍床調査報告, 北海道地下資源調査資料, 120, pp. 1–15, 北海道開発庁.
- 防災科学技術研究所 (2013) 文部科学省委託研究 ひずみ集中帯の重点的調査観測・研究総括成果報告書, p. 98.
- 防災科学技術研究所: F-net 広帯域地震観測網, <https://www.fnet.bosai.go.jp/top.php?LANG=ja>, 2023 年 9 月 11 日閲覧.
- 防災科学技術研究所: Hi-net 高感度地震観測網, <https://www.hinet.bosai.go.jp/?LANG=ja>, 2022 年 5 月 11 日閲覧.
- 防災科学技術研究所: J-SHIS 地震ハザードステーション, <https://www.j-shis.bosai.go.jp/>, 2022 年 5 月 24 日閲覧.
- 防災科学技術研究所: 強震観測網 (K-NET, KiK-net), <https://www.kyoshin.bosai.go.jp/kyoshin/>, 2023 年 11 月 27 日閲覧.
- 防災科学技術研究所: 地すべり地形 GIS データ, [http://dil-opac.bosai.go.jp/publication/nied\\_tech\\_note/landslidemap/gis.html](http://dil-opac.bosai.go.jp/publication/nied_tech_note/landslidemap/gis.html), 2023 年 5 月 19 日閲覧.
- 防災科学技術研究所: 日本全国高分解能再決定震源カタログ, <https://www.hinet.bosai.go.jp/topics/JUICE/?LANG=ja>, 2022 年 5 月 24 日閲覧.
- 防災科学技術研究所: 日本列島下の三次元地震波速度構造 (海域拡大 2019 年版), [https://www.hinet.bosai.go.jp/topics/sokudo\\_kozo/](https://www.hinet.bosai.go.jp/topics/sokudo_kozo/), 2022 年 5 月 24 日閲覧.

## C

- 地学団体研究会札幌支部 (1960) 北海道地域の第三紀構造発達史, *地球科学*, 52, pp. 30–36.
- 千木良雅弘 (2023) 高レベル放射性廃棄物処分場の立地選定—地質学的不確実性の事前回避—, 近未来社.
- 地質調査所編 (1954) 日本鉍産誌 BI-c 主として金属原料となる鉍石—鉄・鉄合金および軽金属—, 東京地学協会.
- 地質調査所編 (1954) 日本鉍産誌 BIV 物理的特性を利用する鉍物, 東京地学協会.
- 地質調査所編 (1955) 日本鉍産誌 BII 主として化学工業原料及び肥料原料となる鉍石, 東京地学協会.
- 地質調査所編 (1955) 日本鉍産誌 BI-a 主として金属原料となる鉍石—金・銀その他—, 東京地学協会.
- 地質調査所編 (1955) 日本鉍産誌 BIII 主として窯業原料となる鉍石, 東京地学協会.
- 地質調査所編 (1955) 日本鉍産誌 BVI-b 水および地熱—地下水・地表水および海水—, 東京地学協会.
- 地質調査所編 (1956) 日本鉍産誌 BI-b 主として金属原料となる鉍石—銅・鉛・亜鉛—, 東京地学協会.
- 地質調査所編 (1956) 日本鉍産誌 BVII 土木建築材料, 東京地学協会.
- 地質調査所編 (1957) 日本鉍産誌 BV-b 主として燃料となる鉍石—石油および可燃性天然ガス—, 東京地学

- 協会.  
地質調査所編 (1957) 日本鉱産誌 BVI-a 水および地熱—地熱および温泉・鉱泉—, 東京地学協会.  
地質調査所編 (1959) 日本鉱産誌 A 総論, 東京地学協会.  
地質調査所編 (1960) 日本鉱産誌 BV-a 主として燃料となる鉱石—石炭—, 東京地学協会.  
地質調査所 (1982) 日本地質アトラス.  
地質調査所編 (1992) 日本地質アトラス (第2版), 朝倉書店.  
地質調査所燃料部石油課 (1959) 油徴とはどんなものか (2), 地質ニュース, 58, pp. 9-13.  
地質調査所燃料部石油課 (1961) 日本北部の天然ガス, 地質ニュース, 83, pp. 7-11.  
地質環境の長期安定性研究委員会 (2011) 地質リーフレット 4, 日本列島と地質環境の長期安定性, 日本地質学会.  
中央防災会議事務局 (2004) 北海道地域の深部地盤構造モデルについて, [https://www.bousai.go.jp/kaigirep/chuobou/senmon/nihonkaiko\\_chisimajishin/hokkaido\\_wg/1/index.html](https://www.bousai.go.jp/kaigirep/chuobou/senmon/nihonkaiko_chisimajishin/hokkaido_wg/1/index.html), 2022年5月26日閲覧.  
中央气象台 (1952) 地震観測法, 気象協会.  
Creveling, J. R., Mitrovica, J. X., Clark, P. U., Waelbroeck, C., Pico, T. (2017) Predicted bounds on peak global mean sea level during marine isotope stages 5a and 5c, *Quaternary Science Reviews*, 163, pp. 193-208.
- D**  
第四紀地殻変動研究グループ (1968) 第四紀地殻変動図, 第四紀研究, 7, 4, pp. 182-187.  
第四紀火山カタログ委員会編 (1999) 日本の第四紀火山カタログ, 日本火山学会.  
檀原 毅 (1970) 日本における平均海面の永年変化とそれにとまなう問題点について, 測地学会誌, 16, 1-2, pp. 1-8.  
檀原 毅 (1971) 日本における最近70年間の総括的上下変動, 測地学会誌, 17, 3, pp. 100-108.  
土居繁雄, 長谷川 潔 (1956) 5万分の1地質図幅「俱知安」及び説明書, 5万分の1地質図, 札幌-第28号, 北海道開発庁.
- E**  
江原幸雄, 西田直樹, 横山 泉 (1970) 北海道における地殻熱流量の測定 (その1), 北海道大学地球物理学研究報告, 24, pp. 125-139.  
江原幸雄, 横山 泉 (1971) 北海道における地殻熱流量の測定 (その2), 北海道大学地球物理学研究報告, 26, pp. 67-84.
- F**  
藤林紀枝, 渡辺 寧, 加々美寛雄, 川野良信 (1995) 東  
北日本弧北端, 積丹半島-支笏湖地域における中新世後期~鮮新世火山岩類の化学組成の時空変遷, 地質学論集, 44, pp. 181-195.  
藤井敬三, 曾我部正敏 (1978) 北海道における後期中新世から鮮新世にみられる構造運動, 地質調査所月報, 29, 10, pp. 631-644.  
Fujii, N., Igarashi, T., Togashi, Y. (1976) Distribution map of kaolin, pyrophyllite and sericite clay deposits in Japan, 1:2,000,000 map series, 17-1, Geological Survey of Japan.  
藤本和徳, 竹林 勇, 鈴木豊重 (1979) 神恵内村温泉試すい調査報告, 地下資源調査所報告, 51, pp. 63-72.  
藤本和徳 (1995) 道内市町村の地熱・温泉ボーリング, 第33回試錐研究会講演資料集, pp. 55-65, 北海道立地下資源調査所.  
藤本和徳, 高橋徹哉, 鈴木隆広編 (2004) 北海道市町村の地熱・温泉ボーリングデータ集, 北海道立地質研究所.  
藤原 治, 三箇智二, 大森博雄 (1999) 日本列島における侵食速度の分布, サイクル機構技報, 5, pp. 85-93.  
藤原 治, 三箇智二, 大森博雄 (2001) 日本列島における侵食速度の分布 (CD-ROM版), JNC TN7410 2001-015, 核燃料サイクル開発機構 東濃地科学センター.  
藤原 治, 柳田 誠, 三箇智二 (2004) 日本列島の最近約10万年間の隆起速度の分布, 月刊地球, 26, 7, pp. 442-447.  
藤原 治, 柳田 誠, 三箇智二, 守屋俊文 (2005) 地層処分からみた日本列島の隆起・侵食に関する研究, 原子力バックエンド研究, 11, 2, pp. 113-124.  
藤原哲夫 (1983) 北海道の地質と資源 V 北海道の非金属資源, 北海道立地下資源調査所.  
深畑幸俊, 岡崎智久, 西村卓也 (2022) GNSSデータに基づく日本列島の歪み速度場と島弧間および島弧内変動, 地学雑誌, 131, 5, pp. 479-496.  
深見浩司 (2009) 地質系統と水理定数・水質その2—北海道の畑作振興深層地下水調査から—, 北海道立地質研究所報告, 80, pp. 157-183.  
福田正己 (1982) 北海道における凍結-融解の繰返し出現頻度の分布—ソリフラクションに関連して—, 若松五郎編:北海道全域における積雪の分布と特性およびにそれが地面凍結, 植生, 昆虫生態に及ぼす影響に関する研究, 北海道大学低温科学研究所, pp. 77-86.  
二間瀬 洌, 松波武雄 (1985) 北海道の地熱・温泉—1985年・I版— (A) 西南北海道中南部 (1975年~1983年) (B) 西南北海道北部 (1976年~1983年), 地下資源調査所調査研究報告, 15.
- G**  
雁沢好博 (1983) フィッション・トラック法によるグリーン・タフ変動の年代区分 その2—富山県太美山地域—, 地質学雑誌, 89, 5, pp. 271-286.

- 鷹澤好博, 白井理沙, 田中 瞳, 東 剛 (2007) SAR 法による洞爺火砕流堆積物の赤色熱ルミネセンス年代測定, 地質学雑誌, 113, 9, pp. 470-478.
- Goto, Y., Suzuki, K., Shinya, T., Yamauchi, A., Miyoshi, M., Danhara, T., Tomiya, A. (2018) Stratigraphy and Lithofacies of the Toya Ignimbrite in Southwestern Hokkaido, Japan: Insights into the Caldera-forming Eruption at Toya Caldera, Journal of Geography (Chigaku Zasshi), 127, 2, pp. 191-227.
- ### H
- 萩原法子, 矢野牧夫 (1994) 渡島半島におけるブナ林の北限到達年代, 北海道開拓記念館研究年報, 22, pp. 1-9.
- 濱田誠一 (1998) 北海道余市湾海底下に見られる埋没地形—3.5kHzSBP 記録—, 地下資源調査所報告, 69, pp. 71-74.
- 長谷川 昭, 海野徳仁, 高木章雄, 鈴木貞臣, 本谷義信, 亀谷 悟, 田中和夫, 澤田義博 (1983) 北海道および東北地方における微小地震の震源分布—広域の震源データの併合処理—, 地震 第2輯, 36, pp. 129-150.
- 長谷川 昭, 中島淳一, 海野徳仁, 三浦 哲, 諏訪謡子 (2004) 東北日本弧における地殻の変形と内陸地震の発生様式, 地震 第2輯, 56, 4, pp. 413-424.
- Hasegawa, A., Nakajima, J., Uchida, N., Okada, T., Zhao, D., Matsuzawa, T., Umino, N. (2009) Plate subduction, and generation of earthquakes and magmas in Japan as inferred from seismic observations: An overview, Gondwana Research, 16, pp. 370-400.
- 長谷川 昭, 中島淳一, 内田直希, 梁田高広, 岡田知己, 趙 大鵬, 松澤 暢, 海野徳仁 (2012) 沈み込み帯の地震の発生機構—地殻流体に規定されて発生する沈み込み帯の地震—, 地学雑誌, 121, 1, pp. 128-160.
- 長谷川 昭, 中島淳一 (2022) 陸域下の低周波地震とその地震学のおよびテクトニクス的意義, 地学雑誌, 131, 3, pp. 289-315.
- 長谷川 潔, 酒匂純俊 (1964) I 古平郡古平町古平川上流地域鉍床調査報告, 北海道開発計画調査 特殊地帯地下資源開発調査資料 昭和38年度 積丹半島地下資源開発調査, pp. 1-12, 北海道開発局.
- 長谷川 潔, 庄谷幸夫, 松波武雄 (1974) 稲倉石地域の鉍床 (主要鉍物開発促進調査報告-第6報), 地下資源調査所報告, 46, pp. 71-84.
- 長谷川 潔, 寺島克文, 黒沢邦彦 (1983) 北海道の地質と資源 III 北海道の金属鉍物資源, 北海道立地下資源調査所.
- 長谷川 潔, 八幡正弘, 山岸宏光 (1986) 島弧横断ルート No.2 (倶知安-小樽), 北村 信編: 新生代東北本州弧地質資料集, 宝文堂, 1, 2.
- 長谷川 潔, 黒沢邦彦, 庄谷幸夫, 八幡正弘 (1989) 北海道のレアメタル資源 (鉍物資源開発調査報告第7報), 地下資源調査所報告, 60, pp. 157-175.
- Hasegawa, K. (1992) Neogene mineralization in the Kunitomi-Jozankei-Chitose area, Hokkaido, Japan, Report of the Geological Survey of Hokkaido, 63, pp. 137-162.
- 長谷川浩一, 若松加寿江, 松岡昌志 (2005) ダム堆砂データに基づく日本全国の潜在的侵食速度分布, 自然災害科学, 24, 3, pp. 287-301.
- 橋本 学, 多田 堯 (1988) 北海道地方の水平変動とテクトニクス, 地震 第2輯, 41, 1, pp. 29-38.
- 橋本 亘, 石川俊夫, 船橋三男, 齊藤昌之, 長尾捨一編 (1958) 20万分の1北海道地質図(1~6) 説明書, 20万分の1地質図, 北海道立地下資源調査所.
- 早川福利, 酒匂純俊, 和気 徹, 二間瀬 洌, 齊藤尚志, 松波武雄 (1983) 北海道の地質と資源 II 北海道の地熱温泉資源, 北海道立地下資源調査所.
- 早坂一郎, 鈴木 醇, 原田準平, 佐々保雄, 石川俊夫, 根本忠寛, 小林 勇, 沼辺武堤, 大島正夫, 斎藤 仁, 長尾捨一, 矢部伊太郎, 橋本 亘編 (1953) 二十万分の1北海道地質図(1) 西部, 20万分の1地質図, 北海道立地下資源調査所.
- 林 圭一, 大津 直, 垣原康之, 鈴木隆広 (2018) 赤井川村南東部に分布する中新統の層序と地質年代に関する新知見, 北海道地質研究所報告, 90, pp. 1-14.
- 広川 治, 村山正郎 (1955) 5万分の1地質図幅「岩内」及び説明書, 5万分の1地質図, 札幌・第27号, 地質調査所.
- 廣瀬 遥, 岡村 聡 (2017) 積丹半島沼前岬の塩基性貫入岩体, 北海道教育大学紀要, 自然科学編, 67, 2, pp. 23-34.
- 広瀬 亘, 岩崎深雪, 中川光弘 (2000) 北海道中央部~西部の新第三紀火成活動の変遷: K-Ar 年代, 火山活動様式および全岩化学組成から見た東北日本弧北端の島弧火成活動の変遷, 地質学雑誌, 106, 2, pp. 120-135.
- 広田知保, 和田信彦, 横山英二, 菅 和哉 (1985) 北海道水理地質図「倶知安」及び説明書, 北海道水理地質図幅, 7, 北海道立地下資源調査所.
- 北海道 (1995) 平成5年 (1993年) 北海道南西沖地震災害記録.
- 北海道電力 (2009) 泊発電所1号機及び2号機「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」の改訂に伴う耐震安全性評価結果 報告書.
- 北海道電力 (2011) 泊発電所 平成23年東北地方太平洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価 中間報告書.
- 北海道電力 (2011) 平成23年東北地方太平洋沖地震を踏まえた新耐震指針に照らした既設発電用原子炉施設等の耐震安全性の評価結果の報告に係る原子力安全・保安院における検討に際しての意見の追加への対応に基づく報告について (平成23年5月).
- 北海道電力 (2013) 泊発電所 平成23年東北地方太平

- 洋沖地震の知見等を踏まえた原子力施設への地震動及び津波の影響に関する安全性評価 地質調査結果報告書.
- 北海道電力 (2013) 泊発電所の発電用原子炉設置変更許可申請書 (1号及び2号発電用原子炉施設の変更) .
- 北海道電力 (2015) 泊発電所の発電用原子炉設置変更許可申請書 (3号発電用原子炉施設の変更) .
- 北海道電力 (2022) 泊発電所の発電用原子炉設置変更許可申請書 (1号及び2号発電用原子炉施設の変更) .
- 北海道電力:北海道電力株式会社 泊発電所 (3号炉) 関連審査会合.
- 北海道電力:北海道電力株式会社 泊発電所 (1・2号炉) 関連審査会合.
- 北海道土木地質データ集作成委員会編 (2017) 北海道地方土木地質図および同解説書, 日本応用地質学会北海道支部.
- 北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会 (2000) 北海道日本海沿岸における大規模岩盤崩落検討委員会報告書.
- 「北海道の地すべり 2012」編集委員会編 (2012) 北海道の地すべり 2012, 北海道地すべり学会.
- 北海道立地下資源調査所広報紙編集委員会編 (1989) 地域エネルギーが身近に—昭和63年度地域エネルギー開発振興事業成果—, 地下資源調査所ニュース, 5, 4, p. 2.
- 北海道立地下資源調査所広報紙編集委員会編 (1989) 北海道の自然公園めぐり、その1—ニセコ積丹小樽海岸国立公園—, 地下資源調査所ニュース, 5, 3, pp. 2–3.
- 北海道立地下資源調査所広報紙編集委員会編 (1991) 地域エネルギー調査感—平成2年度 市町村振興補助による地熱利用成果—, 地下資源調査所ニュース, 7, 3, p. 3.
- 北海道立地質研究所広報委員会編 (2003) 活火山定義見直し—新たに利尻山・羊蹄山・ニセコなど—, 地質研究所ニュース, 19, 2.
- 北海道立地質研究所広報委員会編 (2009) ニセコ地域での温泉調査—持続可能な温泉利用をめざして, 地質研究所ニュース, 25, 1, p. 2.
- 北海道立総合研究機構環境・地質研究本部地質研究所広報委員会編 (2012) ニセコ山麓の温泉の生い立ちをさぐる, 地質研究所ニュース, 28, 2.
- 北海道総合研究機構地質研究所 (2016) 平成27年度地熱・温泉熱開発可能性調査業務報告書.
- 北海道通商産業局 (1993) 北海道の石炭.
- 北海道通商産業局産業部産業立地課 (2000) 岩内地域地下水利用適正化調査報告, 工業用水, 502, pp. 30–39.
- Honda, S., Yoshida, T. (2005) Application of the model of small-scale convection under the island arc to the NE Honshu subduction zone, *Geochimistry, Geophysics, Geosystems*, 6, 1, Q01002, doi: 10.1029/2004GC000785.
- Honda, S., Yoshida, T., Aoike, K. (2007) Spatial and temporal evolution of arc volcanism in the northeast Honshu and Izu-Bonin Arcs: Evidence of small-scale convection under the island arc?, *Island Arc*, 16, pp. 214–223.
- Hua, Y., Zhao, D., Xu, Y., Wang, Z. (2019) Arc-arc collision caused the 2018 Eastern Iburi earthquake (M 6.7) in Hokkaido, Japan, *Scientific Reports*, 9:13914, doi: 10.1038/s41598-019-50305-x.
- I
- 五十嵐昭明, 横田節哉 (1970) 北海道ニセコ火山東部地域の第四紀鉍化作用, 地質調査所月報, 21, 6, pp. 361–385.
- 五十嵐昭明, 古川雄也, 菅原一安, 西村 進, 岡部賢二 (1978) 北海道札幌市豊羽地熱地域の熱水変質帯, 地質調査所報告, 259, pp. 9–42.
- Igarashi, T. (1979) Distribution map of lead and zinc ore deposits in Japan, 1:2,000,000 map series, 17-2, Geological Survey of Japan.
- Igarashi, T., Kishimoto, F. (1979) Distribution map of copper ore deposits in Japan, 1:2,000,000 map series, 17-3, Geological Survey of Japan.
- 五十嵐俊雄, 岡野武雄 (1979) 日本の硫黄・硫化鉄・石膏・重晶石鉱床分布図, 200万分の1地質編集図, 17-6, 地質調査所.
- 五十嵐八枝子 (1990) 花粉化石から探る森林の歴史—北海道の3万年間—, 日本林学会北海道支部論文集, 38, pp. 1–9.
- 五十嵐八枝子 (2010) 北海道とサハリンにおける植生と気候の変遷史—花粉から植物の興亡と移動の歴史を探る—, 第四紀研究, 49, 5, pp. 241–253.
- Igarashi, Y., Zharov, A. E. (2011) Climate and vegetation change during the late Pleistocene and early Holocene in Sakhalin and Hokkaido, northeast Asia, *Quaternary International*, 237, pp. 24–31.
- 五十嵐八枝子, 成瀬敏郎, 矢田貝真一, 檀原 徹 (2012) 北部北海道の剣淵盆地における MIS 7以降の植生と気候の変遷史—特に MIS 6/5e と MIS 2/1 について, 第四紀研究, 51, 3, pp. 175–191.
- Igarashi, Y. (2016) Vegetation and climate during the LGM and the last deglaciation on Hokkaido and Sakhalin Islands in the northwest Pacific, *Quaternary International*, 425, pp. 28–37.
- 猪木幸男, 垣見俊弘 (1954) 5万分の1地質図幅「小樽西部」及び説明書, 5万分の1地質図, 札幌-第10号, 北海道開発庁.
- Iinuma, T., Kato, T., Hori, M. (2005) Inversion of GPS velocity and seismicity data to yield changes in stress in the Japanese Islands, *Geophysical Journal International*, 160, 2, pp. 417–434.

- 伊木常誠 (1911) 明治四十三年度鑛物調査ノ概要, 後志国銀山地方ノ鑛山, 鑛物調査報告 (北海道之部), 1, pp. 21-33, 地質調査所.
- Imai, I., Issiki, N., Nozawa, T., Tanaka, K., Yamada, N., Yoshida, T. (1982) Geological map of Japan, 1:5,000,000 (Fourth edition), Geological Survey of Japan.
- 今井 登, 寺島 滋, 太田充恒, 御子柴 (氏家) 真澄, 岡井貴司, 立花好子, 富樫茂子, 松久幸敬, 金井 豊, 上岡 晃, 谷口政碩 (2004) 日本の地球化学図, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 今井 登, 寺島 滋, 太田充恒, 御子柴 (氏家) 真澄, 岡井貴司, 立花好子, 池原 研, 片山 肇, 野田 篤, 富樫茂子, 松久幸敬, 金井 豊, 上岡 晃 (2010) 海と陸の地球化学図, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 今泉俊文, 宮内崇裕, 堤 浩之, 中田 高編 (2018) 活断層詳細デジタルマップ [新編], 東京大学出版会.
- Imperial Geological Survey of Japan (1902) Outlines of the geology of Japan : descriptive text to accompany the geological map of the Empire on the scale 1:1,000,000.
- 石田正夫, 秦 光男 (1986) 50 万分の 1 地質図「札幌」, 50 万分の 1 地質図幅, 4, 地質調査所.
- 石田正夫, 三村弘二, 広島俊男 (1991) 20 万分の 1 地質図幅「岩内 (第 2 版)」, 20 万分の 1 地質図, 地質調査所.
- 石原舜三, 佐々木 昭, 佐藤興平 (1992) 日本鉱床生成図 深成岩活動と鉱化作用 (3) 第三紀-第四紀, 200 万分の 1 地質編集図, 15-3, 地質調査所.
- 石原舜三, 笠原裕子, 松枝大治 (1998) 北海道南西部における新第三紀花崗岩類の発見, 地質調査所月報, 49, 9, pp. 461-467.
- 石井次郎, 守屋 洋, 岡村 聡, 国分公貴, 山谷 潤 (1990) 北海道積丹半島沖二子海丘西峰から採取された火山岩円礫 (予報), 北海道東海大学紀要理工学系, 3, pp. 13-20.
- 石井正之, 鬼頭伸治, 田近 淳, 宮坂省吾編 (2016) 北海道自然探検 ジオサイト 107 の旅, 北海道大学出版会.
- 石川典彦, 橋本 学 (1999) 測地測量により求めた日本の地震間の平均的な地殻水平ひずみ速度 (II), 地震第 2 輯, 52, pp. 299-315.
- 石川俊夫, 浦島幸世, 成田英吉 (1960) II 後志国古宇川上流地域の地質鉱床調査概報, 北海道総合開発計画調査 特殊地帯地下資源開発調査資料 昭和 34 年度積丹半島地下資源開発調査報告, pp. 27-50, 北海道開発局.
- 石川有三 (1998) 日本海の変動帯, 月刊地球, 20, 8, pp. 490-496.
- 石塚 治, 岡村行信, 荒井晃作, 池原 研, 片山 肇 (2000) 北海道西方海域及び秋田沖海域より採取された岩石試料, 地質調査所速報, MG/00/1, pp. 67-89.
- 磯見 博 (1968) 日本地質構造図, 200 万分の 1 地質編集図, 12, 地質調査所.
- 磯崎行雄, 丸山茂徳, 青木一勝, 中間隆晃, 宮下 敦, 大藤 茂 (2010) 日本列島の地体構造区分再訪 - 太平洋型 (都城型) 造山帯構成单元および境界の分類・定義 -, 地学雑誌, 119, 6, pp. 999-1053.
- 伊藤陽司, 山岸宏光, 川村信人, 堀 俊和 (1999) 北海道における地すべり地形の特徴—地すべり地形データベースの解析から—, 地すべり, 35, 4, pp. 7-15.
- 伊藤嘉秋, 三浦 哲, 太田雄策 (2017) 北海道・東北地方における GNSS 速度場のクラスタ解析, 日本地震学会 2017 年度秋季大会講演予稿集, S03-P05.
- 伊東佳彦, 日下部祐基, 日外勝仁, 坂本多朗 (2008) 工学的特性からみた北海道日本海沿岸火砕岩類の崩壊特性の検討, 平成 20 年度研究発表会講演論文集, pp. 123-124.
- 岩淵義郎, 加藤 茂 (1988) 第四紀地図の作成過程からみた大陸棚, 第四紀研究, 26, 3, pp. 217-225.
- 泉 紀明, 西澤あずさ, 堀内大嗣, 木戸ゆかり, 中田 高, 後藤秀昭, 渡辺満久, 鈴木康弘 (2014) 3 秒グリッド DEM から作成した日本海東縁部の 3D 海底地形, 海洋情報部研究報告, 51, pp. 127-143.
- 泉 紀明, 西澤あずさ, 堀内大嗣, 木戸ゆかり, 中田 高, 後藤秀昭, 渡辺満久, 鈴木康弘 (2015) 日本海東縁部海底地形のアナグリフ画像, 水路新技術講演集, 28, P05, p. 28.

## J

- 人文社編集部編 (2005) 日本の活断層地図 北海道・東北・新潟 活断層地図, 人文社.
- 地震調査研究推進本部地震調査委員会 (2003) 日本海東縁部の地震活動の長期評価について.
- 地震調査研究推進本部地震調査委員会編 (2009) 日本の地震活動—被害地震から見た地域別の特徴—< 第 2 版 >, 地震予知総合研究振興会地震調査研究センター.
- 地震調査研究推進本部地震調査委員会 (2021) 全国地震動予測地図 2020 年版, [https://www.jishin.go.jp/evaluation/seismic\\_hazard\\_map/shm\\_report/shm\\_report\\_2020/](https://www.jishin.go.jp/evaluation/seismic_hazard_map/shm_report/shm_report_2020/), 2022 年 5 月 24 日閲覧.
- 地震調査研究推進本部地震調査委員会: 長期評価結果一覧, [https://www.jishin.go.jp/evaluation/long\\_term\\_evaluation/lte\\_summary/](https://www.jishin.go.jp/evaluation/long_term_evaluation/lte_summary/), 2022 年 5 月 24 日閲覧.
- 地震調査研究推進本部地震調査委員会: 毎月の地震活動, [https://www.jishin.go.jp/evaluation/seismicity\\_monthly/](https://www.jishin.go.jp/evaluation/seismicity_monthly/), 2022 年 5 月 24 日閲覧.
- 地震予知総合研究振興会: 3D 震源分布図, <https://www.adep.or.jp/kanren/singen.html>, 2022 年 5 月 24 日閲覧.
- 地震予知総合研究振興会: 地震検索 / メジャーイベント情報, [https://www.adep.or.jp/kanren/search\\_earth.html](https://www.adep.or.jp/kanren/search_earth.html), 2022 年 5 月 24 日閲覧.

地すべり学会北海道支部編(1999)北海道の地すべり'99.

## K

梶島太郎, 荒井英一, 細井義孝 (2000) 空中磁気・放射能データを用いた北海道南部地域における金属鉱床有望地区の抽出, 資源地質, 50, 1, pp. 11-22.

海上保安庁 (1996) 20 万分の 1 海底地形図「日本北海道西岸石狩湾西方」, 第 6657 号.

海上保安庁水路部 (1979) 沿岸の海の基本図 (5 万分の 1) 神威岬, 海図, 第 6324 号<sup>3</sup>.

海上保安庁水路部 (1995) 沿岸の海の基本図 (5 万分の 1) 寿都, 海図, 第 6325 号<sup>1S</sup>.

海上保安庁水路部 (2001) 日本海東縁部の海底地形と活構造, 地震予知連絡会会報, 66, 2-8, pp. 100-104, 国土地理院.

貝塚爽平 (1992) 300 万分の 1 日本と周辺の活断層・地震分布図, 地図, 30, 1, pp. 29-34.

垣見俊弘, 衣笠善博, 加藤碩一 (1978) 日本活断層図および説明書「活断層について」, 200 万分の 1 地質編集図, 18, 地質調査所.

垣見俊弘, 松田時彦, 相田 勇, 衣笠善博 (2003) 日本列島と周辺海域の地震地体構造区分, 地震 第 2 輯, 55, pp. 389-406.

Kamae, K. (Eds.) (2016) Earthquakes, Tsunamis and Nuclear Risks : Prediction and assessment beyond the Fukushima Accident, SpringerOpen.

鎌谷紀子, 勝間田明男 (2004) 火山から離れた地域で発生している深部低周波微動・地震—その分布と発生原因—, 地震 第 2 輯, 57, pp. 11-28.

亀井節夫, ウルム氷期以降の生物地理総研グループ (1981) 最終氷期における日本列島の動・植物相, 第四紀研究, 20, 3, pp. 191-205.

環境省: 再生可能エネルギー情報提供システム, <https://www.renewable-energy-potential.env.go.jp/RenewableEnergy/index.html?msckid=7b06bf8fcf7b11ec854afd71371b3b91>, 2022 年 5 月 13 日閲覧.

鹿野和彦, 山岸宏光, 宇井忠英, 小野晃司, 星住英夫, 巖谷敏光, 中野 俊, 山元孝広, 宇都浩三, 川辺慎久, 曾屋龍典, 湯浅真人編 (2000) 日本の新生代火山岩の分布と産状 Ver.1.0, 数値地質図, G-4, 地質調査所.

鹿野和彦, 栗本史雄, 巖谷敏光, 星住英夫, 松浦浩久, 牧本 博 (2002) 日本地質図第 5 版, 200 万分の 1 地質編集図, 4, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.

火力原子力発電技術協会: 地熱発電関係の情報の収集及び提供, <https://www.tenpes.or.jp/mmetc/>, 2023 年 1 月 20 日閲覧.

帷子二郎 (1926) 北海道赤井川カルデラに就て (上), 地理学評論, 2, 11, pp. 899-924.

帷子二郎 (1926) 北海道赤井川カルデラに就て (下), 地理学評論, 2, 12, pp. 1064-1092.

片山 肇 (2008) 石狩湾表層堆積図, 海洋地質図, 66

(CD), 産業技術総合研究所地質調査総合センター.

片山 肇, 井内美郎, 池原 研 (2012) 積丹半島付近表層堆積図, 海洋地質図, 76 (CD), 産業技術総合研究所地質調査総合センター.

加藤碩一, 脇田浩二, 菅原義明, 宮野素美子, 宮崎一博編 (2011) 日本の地質図史, 地質調査総合センター研究資料集, 535.

加藤幸弘, 浅田 昭 (1998) 日本海東縁部の変動地形, 月刊地球, 20, 8, pp. 510-515.

活断層研究会編 (1980) 日本の活断層—分布図と資料, 東京大学出版会.

活断層研究会編 (1991) 新編日本の活断層—分布図と資料, 東京大学出版会.

Katsumata, A. (2010) Depth of the Moho discontinuity beneath the Japanese islands estimated by travelttime analysis, Journal of Geophysical Research, 115, B04303, doi: 10.1029/2008JB005864.

勝俣 啓 (2005) 北海道地方の地殻内地震分布の上限・下限, 北海道大学地球物理学研究報告, 68, pp. 153-159.

川村信人, 安田直樹, 渡辺暉夫, Fanning, M., 寺田 剛 (2000) 渡島帯ジュラ紀石英長石質砂岩の組成と供給地質体, 地質学論集, 57, pp. 63-72.

川村政和 (1998) 北海道ニセコ地域山麓における河川源流の水温とアニオン濃度分布の地域的特徴について, 地質調査所月報, 49, 8, pp. 413-424.

河田 英, 中村定男, 内田 豊, 竹林 勇, 鈴木豊重 (1966) 泊村盃・茂岩温泉のボーリング, 地下資源調査所報告, 36, pp. 49-59.

風早康平, 高橋正明, 切田 司, 内藤一樹, 渡部芳夫 (2015) 日本列島におけるスラブ起源水の上昇地域の分布図, 地質調査総合センター研究資料集, 616.

経済企画庁 (1967) 50 万分の 1 土地分類図 (表層地質図 I) 北海道地方, 50 万分の 1 土地分類基本調査, 経済企画庁.

経済産業省 (2019) 海洋エネルギー・鉱物資源開発計画. 経済産業省資源エネルギー庁 (2001) 平成 12 年度 広域地質構造調査報告書 北海道南部地域.

菊地宏吉, 水戸義忠 (1998) 国道 229 号線豊浜トンネル上部斜面の岩盤崩落メカニズムに関する地質工学的考察, 応用地質, 39, 5, pp. 456-470.

菊池 徹, 渡辺芳次 (1954) 北海道積丹半島西南部の銅・鉛・亜鉛・硫化鉄マンガン鉱床地質調査報告, 地質調査所月報, 5, 1, pp. 1-12.

金原啓司, 阪口圭一 (1989) 日本の主要地熱地域の地質と温泉・変質帯分布, 地質調査所報告, 270.

木村栄ノ進 (1996) 「豊浜トンネル」崩落事故現場を視る, 北海道地理, 70, pp. 37-42.

木村 学 (2002) プレート収束帯のテクトニクス学, 東京大学出版会.

木下 修, 伊藤英文 (1992) 東北日本と西南日本の接近・

- 接合について—白亜紀～古第三紀の東北日本の挙動—, 地質学雑誌, 98, 3, pp. 223–233.
- 金属鉱物探鉱促進事業団 (1972) 昭和 45 年度 精密調査報告書 国富地域.
- 金属鉱物探鉱促進事業団 (1973) 昭和 46 年度 精密調査報告書 国富地域.
- 金属鉱業事業団 (1974) 昭和 47 年度 精密調査報告書 国富地域.
- 金属鉱業事業団 (1975) 昭和 48 年度 精密調査報告書 国富地域.
- 岸本文男, 五十嵐俊雄, 椎名則子 (1979) 日本の金・銀・アンチモン・水銀・ひ素鉱床分布図, 200 万分の 1 地質編集図, 17-5, 地質調査所.
- 気象庁編 (1995) 平成 5 年 (1993 年) 北海道南西沖地震調査報告—災害時自然事象報告書—, 気象庁技術報告, 117.
- 気象庁: 地震月報 (カタログ編), <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/bulletin/index.html>, 2023 年 5 月 18 日閲覧.
- 気象庁: 震源リスト, [https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/daily\\_map/index.html](https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/daily_map/index.html), 2022 年 5 月 11 日閲覧.
- 気象庁: 日本活火山総覧 (第 4 版) Web 掲載版, [https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/souran/menu\\_jma\\_hp.html](https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/souran/menu_jma_hp.html), 2022 年 5 月 11 日閲覧.
- 気象庁: 発震機構解 (精査後), <https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/mech/index.html>, 2023 年 5 月 15 日閲覧.
- 北川芳男 (1986) 積丹半島の地質に関するノート, 北海道開拓記念館調査報告, 25, pp. 3–6.
- 北井七太郎編 (1972) 郷土かもえない, 古宇郡神恵内村.
- 北村 信 (1978) 後期白亜紀以降の東北日本弧と日高弧, 地団研専報, 21, pp. 161–168.
- Kita, S., Hasegawa, A., Nakajima, J., Okada, T., Matsuzawa, T., Katsumata, K. (2012) High-resolution seismic velocity structure beneath the Hokkaido corner, northern Japan: Arc-arc collision and origins of the 1970 M 6.7 Hidaka and 1982 M 7.1 Urakawa-oki earthquakes, *Journal of Geophysical Research: Solid Earth*, 117, B12301, doi: 10.1029/2012JB009356.
- Kita, S., Nakajima, J., Hasegawa, A., Okada, T., Katsumata, K., Asano, Y., Kimura, T. (2014) Detailed seismic attenuation structure beneath Hokkaido, northeastern Japan: Arc-arc collision process, arc magmatism, and seismotectonics, *Journal of Geophysical Research: Solid Earth*, 119, pp. 6486–6511.
- 紀藤典夫 (2015) 東北・北海道における最終氷期以降のブナ林の拡大, 森林立地, 57, 2, pp. 69–74.
- 小疇 尚 (1977) 化石周氷河現象, 日本第四紀学会編: 日本の第四紀研究—その発展と現状, 東京大学出版会, pp. 163–170.
- 小疇 尚, 福田正己, 石城謙吉, 酒井 昭, 佐久間敏雄, 菊地勝弘編 (1994) 日本の自然 地域編 1 北海道, 岩波書店.
- 小疇 尚, 野上道男, 小野有五, 平川一臣編 (2003) 日本の地形 2 北海道, 東京大学出版会.
- 児玉 浩, 宇井忠英 (1996) イワオヌプリ火山, ニトヌプリ火山, チセヌプリ火山における火山地質学的, 岩石学的研究, 日本火山学会講演予稿集, B6.
- 小池一之, 町田 洋編 (2001) 日本の海成段丘アトラス, 東京大学出版会.
- 国土地理院 (1986) 北海道地方の水平歪, 地震予知連絡会会報, 35, pp. 8–11.
- 国土地理院 (1997) 日本の地殻水平歪図, <https://www.gsi.go.jp/cais/HIZUMI-hizumi.html>, 2023 年 9 月 25 日閲覧.
- 国土地理院: 日本列島の地殻変動, <https://www.gsi.go.jp/kanshi/>, 2022 年 5 月 24 日閲覧.
- 国土庁土地局 (1975) 縮尺 20 万分の 1 土地分類図付属資料 北海道 I (石狩・後志・胆振支庁).
- 国土交通省: 国土地盤情報検索サイト KuniJiban, <http://www.kunijiban.pwri.go.jp>, 2023 年 11 月 27 日閲覧.
- 国土交通省: 日本海における大規模地震に関する調査検討会, [https://www.mlit.go.jp/river/shinngikai\\_blog/daikibojishinchousa/](https://www.mlit.go.jp/river/shinngikai_blog/daikibojishinchousa/), 2022 年 5 月 24 日閲覧.
- 国立防災科学技術センター (1969) 第四紀地殻変動図.
- 国立防災科学技術センター (1973) 第四紀地殻変動図説明書 (概要).
- 国立天文台編 (2020) 理科年表 2021, 丸善出版.
- 小松原 琢 (2015) 活断層の変位速度からみた日本弧のプレート配置—特にアムールプレート南東縁に関して—, 活断層研究, 43, pp. 17–34.
- 小松 亮, 梅田浩司 (1999) 日本列島における温泉・熱水変質帯について, サイクル機構技報, 4, pp. 121–128.
- 駒澤正夫, 広島俊男, 村田泰章, 牧野雅彦, 森尻理恵 (1998) 札幌地域重力図 (ブーゲー異常), 重力図, 10, 地質調査所.
- 駒澤正夫, 広島俊男, 石原丈実, 村田泰章, 山崎俊嗣, 上嶋正人, 牧野雅彦, 森尻理恵, 志知龍一, 岸本清行, 木川栄一 (1999) 日本重力図 (ブーゲー異常), 地質調査所.
- 河野芳輝, 島谷理香, 寺島秀樹 (2009) 重力異常から推定される日本列島周辺の三次元地殻構造, 地震 第 2 輯, 61, 特集号, pp. S247–S254.
- 小坂和夫, 金折裕司, 千木良雅弘, 吉田鎮男編 (2010) 日本の断層マップ, 培風館.
- 越谷 賢, 丸井敦尚, 伊藤成輝, 吉澤拓也 (2011) 日本列島における三次元水文地質モデルの構築と地下水賦存量の試算, 地下水学会誌, 53, 4, pp. 357–377.
- 越谷 賢, 丸井敦尚 (2012) 日本列島における地下水賦存量の試算に用いた堆積物の地層境界面と層厚の三

- 次元モデル (第一版), 地質調査総合センター研究資料集, 564.
- 小菅正裕, 野呂康平, 増川和真 (2017) 東北日本で発生する深部低周波地震の震源の時空間分布の特徴と地震波形の多様性, 地震研究所彙報, 92, pp. 63–80.
- Koulakov, I., Kukarina, E., Fathi, I. H., El Khrepy, S., Al-Arifi, N. (2015) Anisotropic tomography of Hokkaido reveals delamination-induced flow above a subducting slab, *Journal of Geophysical Research: Solid Earth*, 120, pp. 3219–3239.
- 久保恭輔 (1954) 茅沼炭田の地質—茅沼炭の炭質研究, その 1—, 地質調査所月報, 5, 7, pp. 315–326.
- 日下部祐基, 伊東佳彦 (2015) 凍結融解試験による岩石の強度劣化の定式化と物性値との関係, 土木学会論文集 C (地圏工学), 71, 1, pp. 47–54.
- 草野友宏, 浅森浩一, 梅田浩司 (2012) 日本列島における地下水・温泉ガスのヘリウム同位体比データベースの作成, JAEA-Data/Code 2012-017, 日本原子力研究開発機構.
- L**
- Lee, C., Wada, I. (2017) Clustering of arc volcanoes caused by temperature perturbations in the back-arc mantle, *Nature Communications*, 8, 15753, doi: 10.1038/ncomms15753.
- Lee, C., Wada, I. (2021) Volcano clustering promoted by the cessation of back-arc spreading and ensuing nascent lithospheric drips, *Geophysical Research Letters*, 48, e2020GL091433, doi: 10.1029/2020GL091433.
- Liu, X., Zhao, D., Li, S. (2013) Seismic heterogeneity and anisotropy of the southern Kuril arc: insight into megathrust earthquakes, *Geophysical Journal International*, 194, pp. 1069–1090.
- Liu, X., Zhao, D. (2016) Seismic velocity azimuthal anisotropy of the Japan subduction zone: Constraints from P and S wave traveltimes, *Journal of Geophysical Research: Solid Earth*, 121, pp. 5086–5115.
- Liu, X., Zhao, D. (2017) P-wave anisotropy, mantle wedge flow and olivine fabrics beneath Japan, *Geophysical Journal International*, 210, pp. 1410–1431.
- Lyman, B. S., Muroe, H. S., Yamauchi, T., Akiyama, Y., Inagaki, T., Kuwada, T., Misawa, S., Takahashi, J., Kada, T., Ban, I., Saito, T., Shimada, J., Yamagiwa, E., Mayeda, S., Nishiyama, S. (1876) A geological sketch map of the Island of Yesso, Japan (日本蝦夷地質要畧之圖), *Geological Survey of Hokkaido*.
- M**
- 町田 洋, 新井房夫, 宮内崇裕, 奥村晃史 (1987) 北日本を広くおおむね洞爺火山灰, 第四紀研究, 26, 2, pp. 129–145.
- 町田 洋, 新井房夫 (2003) 新編 火山灰アトラス 日本列島とその周辺, 東京大学出版会.
- Maeda, H. (1988) Mineralization ages of the Inakuraishi and Ohe ore deposits, southwestern Hokkaido, Japan, *Mining Geology*, 38, 1, pp. 57–62.
- 牧野雅彦, 大久保泰邦, 中塚 正 (1992) 日本の磁気図及び説明書, 200 万分の 1 地質編集図, 23, 地質調査所.
- 丸茂克美, 沢井長雄 (1986) 西南北海道グリーンタフ地域のいくつかの鉱床産変質岩の K-Ar 年代, 鉱山地質, 36, 1, pp. 21–26.
- 丸山敏彦, 田辺雄三, 高野明富, 作田庸一, 高橋 徹, 藤原達郎, 長谷川 潔, 高橋功二, 庄谷幸夫, 黒沢邦彦 (1988) 昭和 62 年度共同研究報告書 レアメタル資源調査及び回収・精製技術, 北海道立工業試験場, 北海道立地下資源調査所.
- Matsubara, M., Sato, H., Uehira, K., Mochizuki, M., Kanazawa, T. (2017) Three-dimensional seismic velocity structure beneath Japanese Islands and surroundings based on NIED seismic networks using both inland and offshore events, *Journal of Disaster Research*, 12, 5, pp. 844–857.
- Matsubara, M., Sato, H., Uehira, K., Mochizuki, M., Kanazawa, T., Takahashi, N., Suzuki, K., Kamiya, S. (2019) Seismic velocity structure in and around the Japanese Island arc derived from seismic tomography including NIED MOWLA S Hi-net and S-net data, *Seismic Waves—Probing Earth System*, doi: 10.5772/intechopen.86936.
- Matsubara, M., Ishiyama, T., No, T., Uehira, K., Mochizuki, M., Kanazawa, T., Takahashi, N., Kamiya, S. (2022) Seismic velocity structure along the Sea of Japan with large events derived from seismic tomography for whole Japanese Islands including reflection survey data and NIED MOWLAS Hi-net and S-net data, *Earth, Planets and Space*, 74, 171, doi: 10.1186/s40623-022-01724-0.
- 松原 誠, 石山達也, 野 徹夫, 植平賢治, 望月将志, 金澤敏彦, 高橋成実, 神谷真一郎 (2022) 日本列島下の三次元地震波速度構造 (2022 年度版), [https://www.hinet.bosai.go.jp/topics/sokudo\\_kozou/](https://www.hinet.bosai.go.jp/topics/sokudo_kozou/), 2023 年 9 月 25 日閲覧.
- 松田時彦 (1975) 活断層から発生する地震の規模と周期について, 地震 第 2 輯, 28, pp. 269–283.
- 松田時彦 (1990) 最大地震規模による日本列島の地震分帯図, 地震研究所彙報, 65, pp. 289–319.
- 松田時彦, 吉川真季 (2001) 陸域の M $\geq$ 5 地震と活断層

- の分布関係—断層と地震の分布関係—その2, 活断層研究, 20, pp. 1–22.
- Matsuda, Y., Yamagishi, H. (1997) The K-Ar dating of the volcanic rocks from the Otaru city area and the significance, Report of the geological survey of Hokkaido, 68, pp. 103–111.
- 松田義章 (2005) 積丹半島の生い立ち, 余市豆本 第4集別巻2号, 余市豆本の会.
- 松枝大治, 由井俊三, 赤松和夫 (1994) 西南北海道小樽市赤岩の酸性変質帯と金鉱化作用, 地質ニュース, 480, pp. 44–53, 地質調査所.
- 松枝大治, 平間正男, 渡辺暉夫 (1996) 積丹半島豊浜トンネル崩落崖付近の水冷火砕岩類の変質作用, 北海道地区自然災害科学資料センター報告, 11, pp. 71–76.
- 松井公平 (1965) 岩内町雷電温泉, 地下資源調査所報告, 34, p. 70.
- 松波武雄, 秋田藤夫, 高見雅三, 若浜 洋, 岡崎紀俊 (1991) 北海道地熱・温泉ボーリング井データ集 ~ 1990, 北海道立地下資源調査所.
- 松波武雄, 秋田藤夫, 高見雅三, 若浜 洋, 岡崎紀俊 (1991) 北海道地熱・温泉ボーリング井索引図 ~ 1990, 北海道立地下資源調査所.
- 松波武雄 (1992) 北海道の高濃度塩化物泉について, 地下資源調査所報告, 64, pp. 17–30.
- 松波武雄, 高見雅三, 二間瀬 洌 (1994) ニセコ山系北麓岩内周辺の熱水系について, 地下資源調査所報告, 66, pp. 1–26.
- 松波武雄 (1995) 北海道の海岸地域に分布する高濃度塩水について, 地下資源調査所報告, 67, pp. 41–58.
- 松波武雄, 鈴木豊重, 藤本和徳, 秋田藤夫, 若浜 洋 (1996) 北海道地熱・温泉ボーリング井データ集 1991~1995, 北海道立地下資源調査所.
- 松波武雄, 鈴木豊重, 藤本和徳, 秋田藤夫, 若浜 洋 (1996) 北海道地熱・温泉ボーリング井索引図 1991~1995, 北海道立地下資源調査所.
- 松波武雄, 鈴木豊重 (1997) 西部北海道の基盤岩類と伝導卓越系温泉について, 地下資源調査所報告, 68, pp. 1–16.
- 松波武雄, 鈴木隆広 (1997) 道内温泉水等の水素・酸素同位体比, 地下資源調査所報告, 68, pp. 149–152.
- 松波武雄 (1998) 北海道の中性~アルカリ性硫酸塩泉について, 地下資源調査所報告, 69, pp. 1–13.
- 松波武雄, 鈴木豊重, 藤本和徳, 川森博史 (1999) 北海道の温泉開発リスクの地域性について, 地下資源調査所報告, 70, pp. 1–26.
- 松波武雄, 藤本和徳, 鈴木隆広 (2000) 北海道の温泉井と“新規温泉地”について, 北海道立地質研究所報告, 71, pp. 13–25.
- 松波武雄, 秋田藤夫, 柴田智郎, 藤本和徳, 鈴木隆広, 高橋徹哉 (2001) 北海道地熱・温泉ボーリング井データ集 1996~2000, 北海道立地質研究所.
- 松波武雄, 秋田藤夫, 柴田智郎, 藤本和徳, 鈴木隆広, 高橋徹哉 (2001) 北海道地熱・温泉ボーリング井索引図 1996~2000, 北海道立地質研究所.
- 松尾良子, 中川光弘 (2017) 北海道南西部ニセコ火山群, イワオヌプリ火山の形成史と活動年代, 日本地球惑星科学連合大会予稿集, SVC50-P13.
- 松末和之, 藤原 治, 末吉哲雄 (2000) 日本列島における最終氷期最寒冷期の気候, サイクル機構技報, 6, pp. 93–104.
- Miura, S., Sato, T., Hasegawa, A., Suwa, Y., Tachibana, K., Yui, S. (2004) Strain concentration zone along the volcanic front derived by GPS observations in NE Japan arc, Earth, Planets and Space, 56, pp. 1347–1355.
- 宮坂省吾, 田中 実, 岡 孝雄, 岡村 聡, 中川 充編 (2011) 札幌の自然を歩く [第3版] 道央地域の地質あんない, 北海道大学出版会.
- Miyauchi, T. (1988) Late Pleistocene marine terrace correlation and chronology in the northern Northeast Japan, Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University, 23, pp. 29–47.
- 宮内崇裕 (1988) 海成段丘の変位から知られる東北日本弧北部の褶曲運動, 月刊地球, 10, 9, pp. 561–567.
- 宮内崇裕 (1988) 東北日本北部における後期更新世海面の対比と編年, 地理学評論, 61 (Ser.A), 5, pp. 404–422.
- Miyauchi, T. (1990) Late Quaternary folding deduced from marine terrace deformation in the northern Northeast Japan arc, Geographical Reports of Tokyo Metropolitan University, 25, pp. 99–108.
- 宮内崇裕 (1990) 旧汀線高度からみた東北日本弧北部の広域地殻変動, 米倉伸之, 岡田篤正, 森山昭雄編: 変動地形とテクトニクス, 古今書院, pp. 157–169.
- 宮内崇裕 (1990) 日本海東縁海岸地域の完新世地震性地殻変動, 地学雑誌, 99, 4, pp. 390–391.
- 宮内崇裕 (2012) 海岸部を襲う直下型地震: 懸念される海底活断層と地震性地殻変動, 科学, 82, 6, pp. 651–661.
- 宮内崇裕 (2013) 旧汀線情報による海底震源断層モデリング—日本海東縁ひずみ集中帯の地震ポテンシャル評価に向けて—, 日本活断層学会秋季学術大会講演予稿集, pp. 42–43.
- 茂木昭夫 (1977) 日本近海海底地形誌—海底俯瞰図集, 東京大学出版会.
- 文部科学省研究開発局, 国立研究開発法人海洋研究開発機構: 海域における断層情報総合評価プロジェクト (平成 25 年度~令和元年度), [https://www.jishin.go.jp/database/project\\_report/kaiiki/](https://www.jishin.go.jp/database/project_report/kaiiki/), 2022 年 5 月 24 日閲覧.
- 文部科学省研究開発局, 東京大学地震研究所: 「日本海地震・津波調査プロジェクト」成果報告書 (平成 25 年度~令和 2 年度), [http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/project/Japan\\_Sea/houkokusyo.html](http://www.eri.u-tokyo.ac.jp/project/Japan_Sea/houkokusyo.html), 2022 年 5 月 24

- 日閲覧。
- 森木ひかる, 隈元 崇, 中田 高, 後藤秀昭, 泉 紀明, 西澤あずさ (2017) アナグリフ画像による日本周辺の海底地すべりの判読と分布特性の検討, 海洋情報部研究報告, 54, pp. 1-16.
- 森野祐助, 大森一人, 鈴木隆広 (2020) ニセコ地域における表流水の水素・酸素安定同位体比分布, 北海道地質研究所報告, 91, pp. 23-28.
- Morishige, M., van Keken, P. E. (2014) Along-arc variation in the 3-D thermal structure around the junction between the Japan and Kurile arcs, *Geochemistry, Geophysics, Geosystems*, 15, pp. 2225-2240.
- Morishige, M. (2015) A new regime of slab-mantle coupling at the plate interface and its possible implications for the distribution of volcanoes, *Earth and Planetary Science Letters*, 427, pp. 262-271.
- 守屋以智雄 (1979) 日本の第四紀火山の地形発達と分類, *地理学評論*, 52, 9, pp. 479-501.
- 守屋以智雄 (1979) 日本の第四紀前半の火砕流台地, *火山*, 24, 2, p. 119.
- 守屋以智雄 (1983) 日本の火山地形, *UP Earth Science*, 東京大学出版会.
- 森谷武男 (1974) 北海道渡島半島における微小地震観測, 昭和 49 年度地震学会春季大会講演予稿集, 1, p. 41.
- 森谷武男 (1976) 北海道南西部における地震面の褶曲構造と地震波の減衰, [シンポジウム] 北海道およびその周辺の地下構造とその地学的意味, pp. 13-27.
- 森谷武男 (1984) 北海道内陸部における浅発地震のメカニズム解—1973 年以前とそれ以後の変化—, 地震学会講演予稿集昭和 59 年度春季大会, 1, p. 86.
- 森谷武男 (1986) 浅い地震活動と起震歪力から見た北海道のテクトニクス, *地団研専報*, 31, pp. 475-485.
- 森谷武男 (1999) 北海道とその周辺における地震のメカニズム解から推定される地殻内部応力場, *月刊地球*, 21, 9, pp. 557-564.
- 本山 功 (2000) GH99 航海により日本海海底から採取された岩石・堆積物試料の放散虫化石による年代分析, 地質調査所速報, MG/00/1, pp. 94-98.
- 本谷義信 (1975) 札幌地震観測所における地震観測—札幌周辺の地震活動 (1973.7-1974) —, 北海道大学地球物理学研究報告, 34, pp. 55-65.
- 本谷義信 (1994) 北海道の活断層と微小地震, 北海道地区自然災害科学資料センター報告, 9, pp. 3-24.
- 向山 広, 中村真人, 井上雅弘, 木村 強 (1983) 東北日本におけるブロック運動と鮮新世以降の火山活動, *火山* 第 2 集, 28, 4, pp. 395-408.
- 村上 亮, 小沢慎三郎 (2004) GPS 連続観測による日本列島上下地殻変動とその意義, *地震* 第 2 輯, 57, pp. 209-231.
- 村岡洋文, 阪口圭一, 玉生志郎, 佐々木宗建, 茂野 博, 水垣桂子 (2007) 日本の熱水系アトラス, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 村岡洋文, 阪口圭一, 玉生志郎, 佐々木宗建, 茂野 博, 水垣桂子, 駒澤正夫 (2009) 全国地熱ポテンシャルマップ, 数値地質図, GT-4, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- N**
- 永宮慎也 (1983) 積丹半島北部の段丘地形, *弘大地理*, 19, pp. 25-29.
- 長尾 巧, 佐々保雄 (1933) 北海道西南部の新生代層と最近の地史 (1), *地質学雑誌*, 40, 480, pp. 555-577.
- 長尾 巧, 佐々保雄 (1933) 北海道西南部の新生代層と最近の地史 (2), *地質学雑誌*, 40, 483, pp. 750-755.
- 長尾 巧, 佐々保雄 (1934) 北海道西南部の新生代層と最近の地史 (3), *地質学雑誌*, 41, 485, pp. 47-60.
- 長尾 巧, 佐々保雄 (1934) 北海道西南部の新生代層と最近の地史 (4), *地質学雑誌*, 41, 488, pp. 211-260.
- 永田秀尚 (1997) 413 海食崖の後退にかかわる岩盤崩壊の様式—北海道積丹半島を例に, 日本地質学会第 104 年学術大会講演要旨, p. 305.
- 永田秀尚 (2003) 5. 海食崖における岩盤崩壊発生履歴と崖後退速度, *地形*, 24, 3, p. 333.
- 内藤一樹 (2017) 国内の鉱床・鉱微地に関する位置データ集 (第 2 版), 地質調査総合センター速報, 73.
- Nakagawa, M. (1992) Chemical zonation of volcanoes at the northern end of NE Japan arc: K-Ar ages and geochemistry of some Pliocene and Pleistocene basalts from the western region of Sapporo, southwestern Hokkaido, *Journal of mineralogy, petrology and economic geology*, 87, pp. 460-466.
- Nakagawa, M. (1992) Spatial variation in chemical composition of Pliocene and Quaternary volcanic rocks in southwestern Hokkaido, northeastern Japan arc, *Journal of the Faculty of Science, Hokkaido University. Series 4, Geology and mineralogy*, 23, 2, pp. 175-197.
- 中川光弘, 丸山裕則, 船山 淳 (1995) 北海道第四紀火山の分布と主成分化学組成の広域変化, *火山*, 40, 1, pp. 13-31.
- 中川光弘, 広瀬 亘, 岩崎深雪 (1999) 北海道の 6Ma 以降の火山活動の時空変遷から見た千島弧—東北日本弧会合部のテクトニクス変遷, *月刊地球*, 21, 9, pp. 543-548.
- 中川光弘, 清野寛子 (2000) 東北日本弧背弧側、第四紀火山の成因: 日本海盆沈み込み可能性, 日本地質学会第 107 年学術大会講演要旨, O-315.
- 中川光弘 (2016) 北海道の活火山の活動の現況と今後, 第 54 回試錐研究会講演資料集, pp. 1-26, 北海道立総合研究機構環境・地質研究本部地質研究所.
- Nakajima, J., Hasegawa, A. (2021) Prevalence of shallow low-frequency earthquakes in the continental crust, *Journal of Geophysical Research: S*

- olid Earth, 126, e2020JB021391, doi: 10.1029/2020JB021391.
- Nakamura, M., Yoshida, Y., Zhao, D., Takayama, H., Obana, K., Katao, H., Kasahara, J., Kanazawa, T., Kodaira, S., Sato, T., Shiobara, H., Shinohara, M., Shimamura, H., Takahashi, N., Nakanishi, A., Hino, R., Murai, Y., Mochizuki, K. (2008) Three-dimensional P- and S-wave velocity structures beneath Japan, *Physics of the Earth and Planetary Interiors*, 168, pp. 49–70.
- Nakamura, R., Shiina, T. (2019) Three-dimensional S-wave attenuation structure in and around source area of the 2018 Hokkaido Eastern Iburi Earthquake, Japan, *Earth, Planets and Space*, 71:114, doi: 10.1186/s40623-019-1095-6.
- 中野 俊, 西来邦章, 宝田晋治, 星住英夫, 石塚吉浩, 伊藤順一, 川辺禎久, 及川輝樹, 古川竜太, 下司信夫, 石塚 治, 山元孝広, 岸本清行編 (2013) 日本の火山 (第3版), 200 万分の1地質編集図, 11, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 中谷真英, 梅田克史, 鈴木晴美, 諏訪 至 (2019) 山岳トンネルの斜坑・本坑交差部における設計・施工について, *西松建設技報*, 42, 5.
- 中田 高, 今泉俊文編 (2002) 活断層詳細デジタルマップ, 東京大学出版会.
- 中田 高 (2015) 詳細 DEM 画像による日本列島周辺海域の変動地形学的研究, 科学研究費助成事業研究成果報告書.
- 中塚 正, 大熊茂雄 (2009) 日本空中磁気DBによる対地 1,500m平滑面での磁気異常分布データの編集, 地質調査総合センター研究資料集, 516.
- 成田英吉 (1963) II 古宇郡泊村玉川上流 (玉川鉱山周辺) 地域の銅, 鉛, 亜鉛, 硫化鉄鉱床調査報告, 北海道開発計画調査 特殊地帯地下資源開発調査資料 昭和 37 年度 積丹半島地下資源開発調査報告, pp. 11–19, 北海道開発局.
- 成田英吉, 番場猛夫 (1964) II 古宇郡泊村, 積丹郡古平町岩平峠北部地域の鉱床調査報告, 北海道開発計画調査 特殊地帯地下資源開発調査資料 昭和 38 年度 積丹半島地下資源開発調査, pp. 13–19, 北海道開発局.
- 成田英吉, 岡部賢二, 河野純一 (1965) 北海道積丹半島の地質と鉱床 (I), 岩石鉱物鉱床学会誌, 54, 5, pp. 151–161.
- 成田英吉, 岡部賢二, 河野純一 (1965) 北海道積丹半島の地質と鉱床 (II), 岩石鉱物鉱床学会誌, 54, 6, pp. 208–215.
- 成田英吉, 矢島淳吉, 太田英順, 渡辺 寧, 羽坂俊一, 羽坂なな子, 平野英雄, 須藤定久 (1996) 鉱物資源図 北海道 (東部・西部), 鉱物資源図, 1, 地質調査所.
- 那須孝悌 (1985) 先土器時代の環境, 近藤義郎, 横山浩一, 甘粕 健, 加藤晋平, 佐原 真, 田中 琢, 戸沢 充則編: 岩波講座 日本考古学 2 人間と環境, 岩波書店, pp. 51–109.
- 根本忠寛 (1942) 余別岳圖幅説明書, 北海道工業試験場地質調査報告, 7.
- 根本忠寛, 対馬坤六, 上島 宏 (1955) 5 万分の1地質図幅「古平 (附 幌武意)」及び説明書「古平および幌武意」, 5 万分の1地質図, 札幌-第9,2号, 北海道開発庁.
- 日本地質学会編 (2010) 日本地方地質誌 1 北海道地方, 朝倉書店.
- 日本第四紀学会編 (1987) 日本第四紀地図 解説, 東京大学出版会.
- 日本鉱業協会探査部会 (1965) 日本の鉱床総覧 (上巻), 日本鉱業協会.
- 日本鉱業協会探査部会 (1968) 日本の鉱床総覧 (下巻), 日本鉱業協会.
- 日本の地質『北海道地方』編集委員会編 (1990) 日本の地質 1 北海道地方, 共立出版.
- 日本の地質増補版編集委員会編 (2005) 日本の地質 増補版, 共立出版.
- 日鉱探開 (1981) 昭和 56 年度広域調査 積丹地域空中磁気探査報告書.
- 日鉱探開 (1982) 昭和 56 年度広域調査積丹地域地質調査報告書.
- 日鉱探開 (1983) 昭和 57 年度広域調査 積丹地域地質調査報告書, 金属鉱業事業団.
- 西田泰典, 橋本武志 (2007) 北海道における地殻, 上部マントルの熱的構造: 総合報告, 北海道大学地球物理学研究報告, 70, pp. 1–12.
- 西来邦章, 伊藤順一, 上野龍之編 (2012) 第四紀火山岩体・貫入岩体データベース, 地質調査総合センター速報, 60, <https://unit.aist.go.jp/ievg/dger/db/QVDB/>, 2022 年 5 月 11 日閲覧.
- 西来邦章, 伊藤順一, 上野龍之, 内藤一樹, 塚本 斉 (2014) 第四紀噴火・貫入活動データベース, [https://gbank.gsj.jp/quatigneous/index\\_qvir.php](https://gbank.gsj.jp/quatigneous/index_qvir.php), 2022 年 5 月 11 日閲覧.
- 西村卓也 (2017) GNSS データから見出される日本列島のひずみ集中帯と活断層及び内陸地震, *活断層研究*, 46, pp. 33–39.
- Niu, X., Zhao, D., Li, J., Ruan, A. (2016) P wave azimuthal and radial anisotropy of the Hokkaido subduction zone, *Journal of Geophysical Research: Solid Earth*, 121, pp. 2636–2660.
- 野原 壯, 郡谷順英, 今泉俊文 (2000) 活断層 GIS データを用いた地殻の歪速度の推定, *活断層研究*, 19, pp. 23–32.
- 能條 歩, 板木拓也, 石村豊穂 (2003) 北海道における新生界の微化石研究—1990 年以降の研究成果の総括と今後の課題—, *地球科学*, 57, 6, pp. 343–355.
- 農商務省地質調査所 (1899) 百萬分一大日本帝國地質圖および説明書.

## O

- 大場与志男 (1960) ニセコ火山群の岩石について, 地質学雑誌, 66, 783, pp. 788-799.
- 小倉信雄, 鈴木良一 (1971) 国富鉱山付近の地質構造, 火成活動および鉱化作用について, 鉱山地質, 21, 3, pp. 195-207.
- 小原常弘, 松下勝秀, 佐藤泰子 (1985) 北海道の地質と資源 IV 北海道の水資源, 北海道立地下資源調査所.
- 大日方順三 (1911) 渡島國及後志國鑛床調査報文 茂岩鑛山, 鑛物調査報告 (北海道之部), 6, pp. 56-67, 地質調査所.
- 大日方順三 (1911) 渡島國及後志國鑛床調査報文 稻倉石鑛山, 鑛物調査報告 (北海道之部), 6, pp. 169-179, 地質調査所.
- 大森博雄 (2001) 日本島山地における隆起と侵蝕のダイナミックス, 月刊地球, 号外 32, pp. 14-21.
- 大森一人 (2018) 泉質分析による温泉水の起源と成因の推定, 平成 30 年度調査研究成果発表会資料集, p. 48, 北海道立総合研究機構環境・地質研究本部地質研究所.
- 大森一人, 鈴木隆広 (2018) ニセコ火山群周辺の温泉水の化学組成 (その 1), 北海道地質研究所報告, 90, pp. 49-55.
- 大森一人 (2020) 化学成分から分類した温泉水の起源と地理的關係, 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所 調査研究成果資料集 令和 2 年度 (2020 年度), S-3.
- 大森一人, 鈴木隆広 (2020) ニセコ火山群周辺の温泉水の化学組成 (その 2), 北海道地質研究所報告, 91, pp. 17-22.
- Ohta, E., Kawano, Y., Nakagawa, M., Kagami, H. (1998) Petrochemistry of late Miocene to Quaternary igneous rocks and metallogenesis in Southwest Hokkaido, Japan, Resource Geology, 48, 3, pp. 183-196.
- 大竹政和 (1998) 日本海東縁部の地震発生ポテンシャル, 月刊地球, 20, 8, pp. 449-453.
- 大竹政和, 平 朝彦, 太田陽子編 (2002) 日本海東縁の活断層と地震テクトニクス, 東京大学出版会.
- 大園真子 (2013) GPS 観測に基づく北海道地方の 2011 年東北地方太平洋沖地震 (Mw9.0) に伴うひずみの時空間変化, 北海道大学地球物理学研究報告, 76, pp. 97-110.
- 及川輝樹 (2011) 江戸時代における北海道の噴煙活動と噴火活動の關係, 日本火山学会講演予稿集, B1-14.
- Okada, H., Suzuki, S., Moriya, T., Asano, S. (1973) Crustal structure in the profile across the southern part of Hokkaido, Japan, as derived from explosion seismic observations, Journal of Physics of the Earth, 21, pp. 329-354.
- 岡 大輔 (2018) 重力探査・電磁探査による地下構造調査, 平成 30 年度調査研究成果発表会資料集, p. 47, 北海道立総合研究機構環境・地質研究本部地質研究所.
- Oka, D., Tamura, M., Mogi, T., Nakagawa, M., Takahashi, H., Ohzono, M., Ichiyanagi, M. (2023) Conceptual model of supercritical geothermal system in Shiribeshi Region, Hokkaido, Japan, Geothermics, 108, 102617, doi: 10.1016/j.geothermics.2022.102617.
- 岡村 聡, 石井次郎, 渡辺 寧 (1989) 日本海北東縁, 二子海丘から採取された火山岩片と K-Ar 年代, 岩鉱, 83, 1, pp. 32-36.
- 岡村 聡, 永田秀尚 (2007) 忍路・積丹半島の水底火山活動と岩盤崩壊, 地質学雑誌, 113, 補遺, pp. 93-102.
- 岡村 聡 (2022) 寿都町・神恵内村は深地層処分最適地か?—地質学的視点から考える—, 地学教育と科学運動, 89, pp. 41-47.
- 岡村行信 (1998) 日本海東縁海域の逆断層と地殻短縮量推定の試み, 月刊地球, 20, 8, pp. 460-465.
- 岡村行信, 倉本真一, 佐藤幹夫 (1998) 日本海東縁海域の活構造およびその地震との關係, 地質調査所月報, 49, 1, pp. 1-18.
- 岡村行信 (2008) 石狩湾海底地質図, 海洋地質図, 67 (CD), 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 岡村行信 (2010) 日本海東縁の地質構造と震源断層との關係, 地質学雑誌, 116, 11, pp. 582-591.
- 岡村行信 (2013) 日本海の地形・地質調査から分かる活断層, 地震予知連絡会会報, 90, pp. 530-536.
- 岡村行信 (2019) 日本海における活断層の分布と今後の課題, 地震 第 2 輯, 71, pp. 185-199.
- 岡村行信, 佐藤太一 (2023) 積丹半島付近海底地質図, 海洋地質図, 94, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 岡 孝雄 (1986) 北海道の後期新生代堆積盆の分布とその形成に関わるテクトニクス, 北海道の地質と構造運動, 地団研専報, 31, pp. 295-320.
- 岡 孝雄 (1996) 518 北海道とその周辺地域の第四紀地殻変動量解析結果とネオテクトニクス区分, 日本地質学会第 103 年学術大会講演要旨, p. 366.
- 岡 孝雄 (1997) 北海道とその周辺海域のネオテクトニクスに関する諸問題—付, 札幌付近での活断層の存在と地震発生についての考察—, 川村信人, 岡 孝雄, 近藤 務編: 加藤誠教授退官記念論文集, 加藤誠教授退官記念論文集刊行委員会, pp. 427-449.
- 岡 孝雄 (1997) 北海道のネオテクトニクス区分と地震問題, 日本応用地質学会研究発表会講演論文集, pp. 41-44.
- 岡 孝雄 (1999) 北海道付近のネオテクトニクス像—特にネオテクトニクスの地域区分と特徴—, 月刊地球, 21, 9, pp. 549-556.
- 岡 孝雄 (2006) 北海道沿岸域の沖積層研究の現状, 地質学論集, 59, pp. 53-72.
- 岡 孝雄, 星野フサ, 中村俊夫, 赤松周平, 近藤 務, 米道 博, 関根達夫, 山崎芳樹, 若松幹男 (2019) 北海道岩内平野の沖積層とその下位層の AMS<sup>14</sup>C 年代

- 測定および花粉分析, 名古屋大学年代測定研究, 3, pp. 23-30.
- 大久保泰邦 (1984) 全国のキュリ一点解析結果, 地質ニュース, 362, pp. 12-17, 地質調査所.
- Okubo, Y., Tsu, H., Ogawa, K. (1989) Estimation of Curie point temperature and geothermal structure of island arcs of Japan, *Tectonophysics*, 159, 3-4, pp. 279-290.
- 大久保泰邦 (1993) 日本列島の温度勾配図, 日本地熱学会誌, 15, 1, pp. 1-21.
- 大久保泰邦, 秋田藤夫, 田中明子 (1997) 北海道の温度勾配図とシミュレーション, 地質ニュース, 517, pp. 24-29, 地質調査所.
- 大久保泰邦, 秋田藤夫, 田中明子 (1998) 地温勾配図作成と地下温度構造を求める試み—北海道の例—, 日本地熱学会誌, 20, 1, pp. 15-29.
- 奥村晃史 (1988) 北海道の第四紀地殻変動とプレート運動, 日本地理学会予稿集, 34, pp. 18-19.
- 奥村晃史 (2013) 8-7 更新世海成段丘と広域地殻変動—北海道を例に—, 日本第四紀学会 50 周年電子出版編集委員会編: デジタルブック最新第四紀学 (第 2 刷), 日本第四紀学会, pp. 8-138-8-155.
- Okuno, J., Nakada, M., Ishii, M., Miura, H. (2014) Vertical tectonic crustal movements along the Japanese coastlines inferred from late Quaternary and recent relative sea-level changes, *Quaternary Science Reviews*, 91, pp. 42-61.
- 奥野 充 (2003) ニセコ・イワオスプリ, 大雪山・旭岳, 屈斜路・アトサヌプリにおける最新噴火の年代学的研究, 北海道における完新世火山の火山活動特性の評価, 平成 12 年度~平成 14 年度科学研究費補助金(基礎研究(C)(2))研究成果報告書(課題番号 12640461), pp. 13-23.
- Omuralieva, M. A., Hasegawa, A., Matsuzawa, T., Nakajima, J., Okada, T. (2012) Lateral variation of the cutoff depth of shallow earthquakes beneath the Japan Islands and its implications for seismogenesis, *Tectonophysics*, 518-521, pp. 93-105.
- 小野晃司, 曾屋龍典, 三村弘二編 (1981) 日本の火山 (第 2 版), 200 万分の 1 地質編集図, 11, 地質調査所.
- Ono, Y. (1984) Last Glacial paleoclimate reconstructed from glacial and periglacial landforms in Japan, *Geographical Review of Japan*, 57 (Ser. B), 1, pp. 87-100.
- 小野有五 (1988) 最終氷期における東アジアの雪線高度と古気候, 第四紀研究, 26, 3, pp. 271-280.
- 小野有五 (1990) 北の陸橋, 第四紀研究, 29, 3, pp. 183-192.
- Ono, Y. (1991) Glacial and periglacial paleoenvironments in the Japanese Islands, *The Quaternary Research*, 30, 2, pp. 203-211.
- 小野有五, 五十嵐八枝子 (1991) 北海道の自然史—氷期の森林を旅する—, 北海道大学図書刊行会.
- Ono, Y., Irino, T. (2004) Southern migration of westerlies in the Northern Hemisphere PEP II transect during the Last Glacial Maximum, *Quaternary International*, 118-119, pp. 13-22.
- 小野有五 (2012) 第三章 泊原発に迫る地震と津波の危険, 泊原発の廃炉をめざす会編: 北海道電力<泊原発>の問題は何か, 寿郎社, pp. 61-121.
- 小野有五, 斉藤海三郎 (2017) 「活断層」の認定における地形発達史研究の重要性—北海道、泊原発敷地内の「活断層」を例として—, 日本活断層学会秋季学術大会講演予稿集, pp. 54-55.
- 小野有五, 斉藤海三郎 (2019) 北海道西部, 岩内平野の地形発達史—泊原発の敷地内断層と関連して—, 活断層研究, 51, pp. 27-52.
- 小野有五 (2020) 泊原発の活断層審査で周氷河作用を無視する北海道電力, 科学, 90, 2, pp. 102-113.
- 小野有五 (2021) 寿都町, 神恵内村で明らかになった「核のゴミ」地層処分の問題点, 科学, 91, 1, pp. 90-104.
- Ooi, N. (2016) Vegetation history of Japan since the last glacial based on palynological data, *Japanese journal of historical botany*, 25, 1-2, pp. 1-101.
- 大谷武史 (1999) 北海道後志地方沿岸の波食棚について, 北海道地理, 73, pp. 57-68.
- 太田良平, 上村不二雄, 大沢 穠 (1954) 5 万分の 1 地質図幅「仁木」及び説明書, 5 万分の 1 地質図, 札幌-第 19 号, 北海道開発庁.
- 太田陽子, 松島義章, 海津正倫 (1988) 日本列島の縄文海進高頂期の海岸線図について, 地図, 26, 1, pp. 25-29.
- Ota, Y., Omura, A. (1991) Late Quaternary shorelines in the Japanese Islands, *The Quaternary Research*, 30, 2, pp. 175-186.
- 大槻憲四郎 (1989) 鉾脈による新第三紀東北本州弧の造構応力場復元, 地質学論集, 32, pp. 281-304.
- ### S
- 嵯峨山 積 (1988) 日本海盆北東縁, 海洋海山の珪藻群集, 地質学雑誌, 94, 4, pp. 295-300.
- 嵯峨山 積, 保柳康一, 石井次郎 (1988) 北海道積丹半島沖海洋火山, 1988 年調査で採取された堆積岩中の珪藻群集, 北海道東海大学紀要理工学系, 1, pp. 17-21.
- 嵯峨山 積, 内田康人, 村山泰司, 菅 和哉, 濱田誠一 (1999) 1998 年浅海域地質調査 (西南北海道海域) の概要—岩内海域および島牧・寿都海域—, 地下資源調査所報告, 70, pp. 149-160.
- 嵯峨山 積 (2000) 北海道の新生界中部中新統~鮮新統層序と堆積盆の動き, 北海道立地質研究所報告, 71, pp. 59-102.
- 嵯峨山 積, 内田康人, 大澤賢人, 菅 和哉, 濱田誠一, 村山泰司, 仁科健二 (2000) 北海道沿岸域の地質・底

- 質環境—2— 西南北海道海域, 北海道立地質研究所調査研究報告, 29.
- 嵯峨山 積 (2002) 北海道利尻島および積丹半島の新第三系の地質年代と対比, 北海道立地質研究所報告, 73, pp. 99–106.
- 嵯峨山 積 (2006) 北海道の十勝川・天塩川・石狩川沖の表層堆積物における淡水生珪藻遺骸の広がり, 地質学雑誌, 112, 10, pp. 594–607.
- Sagiya, T., Miyazaki, S., Tada, T. (2000) Continuous GPS array and present-day crustal deformation of Japan, *Pure and Applied Geophysics*, 157, pp. 2303–2322.
- Sagiya, T. (2004) A decade of GEONET: 1994–2003 — The continuous GPS observation in Japan and its impact on earthquake studies—, *Earth, Planets and Space*, 56, pp. xxix–xli.
- 鷺谷 威, 大坪 誠 (2019) 日本列島の地殻ひずみ速度—測地学的データと地質・地形学的データの統一的理解—, 地学雑誌, 128, 5, pp. 689–705.
- 斉藤 紘, 神山 敦, 坂下正弘 (1990) 北海道の金属・非金属鉱物資源, 浦島幸世教授退官記念論文集, pp. 303–314.
- 齋藤 仁 (1962) 北海道の鉱泉資源, 地下資源調査所報告, 28, pp. 1–88.
- 斉藤正雄, 五十嵐昭明, 番場猛夫, 沢 俊明, 山田敬一, 成田英吉 (1963) 北海道金属非金属鉱床総覧 I. 新第三紀後期-第四紀の鉱化作用, 地質調査所.
- 斉藤正雄, 番場猛夫, 沢 俊明, 成田英吉, 五十嵐昭明, 山田敬一, 佐藤博之 (1967) 北海道金属非金属鉱床総覧, 地質調査所.
- 齋藤正次, 上村不二雄, 大沢 穠 (1952) 5万分の1地質図幅「茅沼」及び説明書, 5万分の1地質図, 札幌-第18号, 北海道開発庁.
- 齋藤正次 (1953) 300万分の1日本地質図, 地質調査所.
- 齋藤昌之, 長谷川 潔, 小原常弘 (1960) III 盃川上流地域の銅・鉛・亜鉛鉱床調査報告, 北海道総合開発計画調査 特殊地帯地下資源開発調査資料 昭和34年度積丹半島地下資源開発調査報告, pp. 51–64, 北海道開発局.
- 齋藤昌之, 長谷川 潔, 小田切敏夫 (1961) 泊村盃川上流の銅・鉛・亜鉛鉱床調査概報, 北海道総合開発計画調査 特殊地帯地下資源開発調査資料 昭和35年度積丹半島地下資源開発調査報告, pp. 1–12, 北海道開発局.
- 齋藤昌之 (1966) 特殊地帯地下資源開発調査報告 積丹半島地域調査統括, 北海道開発計画調査 地下資源開発計画調査, 北海道開発庁.
- 齋藤昌之, 松下 亘 (1968) 特定鉱床開発促進調査 積丹半島地域, 北海道開発計画調査 鉱業開発計画調査, 北海道開発庁.
- 坂川幸洋, 梅田浩司, 鈴木元孝, 梶原竜哉, 内田洋平 (2004) 日本の坑井温度プロファイルデータベース, 地震 第2輯, 57, 1, pp. 63–67.
- 阪口 豊 (1962) 岩内・瀬棚地方段丘堆積物の花粉分析, 第四紀研究, 2, 4-5, pp. 205–207.
- 酒匂純俊, 松井公平 (1961) 古平町古平川上流地域鉱床調査概要, 北海道総合開発計画調査 特殊地帯地下資源開発調査資料 昭和35年度 積丹半島地下資源開発調査報告, pp. 33–40, 北海道開発局.
- 酒匂純俊, 松井公平 (1962) III 古平郡古平町古平川上流地域鉱床調査報告, 北海道総合開発計画調査 特殊地帯地下資源開発調査資料 昭和36年度 積丹半島地下資源開発調査報告, pp. 27–34, 北海道開発局.
- 酒匂純俊 (1963) V 古宇郡神恵内村古宇川上流地域鉱床調査報告, 北海道開発計画調査 特殊地帯地下資源開発調査資料 昭和37年度 積丹半島地下資源開発調査報告, pp. 35–41, 北海道開発局.
- 酒匂純俊, 松井公平 (1963) I 古平郡古平町古平川上流地域鉱床調査報告, 北海道開発計画調査 特殊地帯地下資源開発調査資料 昭和37年度 積丹半島地下資源開発調査報告, pp. 1–9, 北海道開発局.
- 酒匂純俊, 和気 徹, 早川福利, 二間瀬 洌, 横山英二, 斎藤尚志, 松波武雄, 内田 豊 (1976) 北海道の地熱・温泉 (A) 西南北海道中南部, 地下資源調査所調査研究報告, 3.
- 酒匂純俊, 和気 徹, 早川福利, 二間瀬 洌, 横山英二, 松波武雄, 斎藤尚志, 内田 豊 (1977) 北海道の地熱・温泉 (B) 西南北海道北部, 地下資源調査所調査研究報告, 4.
- 酒匂純俊, 鈴木 守, 長谷川 潔, 高橋功二, 松下勝秀, 舟橋三男 (1980) 北海道の地質と資源 I 北海道の地質—北海道地質図—, 60万分の1地質図, 北海道立地下資源調査所.
- 寒川 旭, 衣笠善博, 垣見俊弘 (1984) 50万分の1活構造図「札幌」, 50万分の1活構造図, 4, 地質調査所.
- 産業技術総合研究所: 活断層データベース, <https://gbank.gsj.jp/activefault/>, 2023年9月25日閲覧.
- 産業技術総合研究所: 高分解能音波探査断面データベース (3.5kHz SBP), [https://gbank.gsj.jp/sbp\\_db/pages/cover.html](https://gbank.gsj.jp/sbp_db/pages/cover.html), 2023年9月25日閲覧.
- 産業技術総合研究所: 地下構造可視化システム, <https://gbank.gsj.jp/subsurface/>, 2022年5月11日閲覧.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター (2002) 北海道地質ガイド第2版, 数値地質図, G-7.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター編 (2003) 100万分の1日本地質図第3版 CD-ROM 版第2版, 数値地質図, G-1.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター編 (2003) 200万分の1日本地質図第5版 CD-ROM 版, 数値地質図, G-10.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター (2005) 日本温泉・鉱泉分布図及び一覧 (第2版) CD-ROM 版, 数値地質図, GT-2.

- 産業技術総合研究所地質調査総合センター (2005) 日本空中磁気データベース, 数値地質図, P-6.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター編 (2013) 日本重力データベース DVD 版, 数値地質図, P-2.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター編 (2020) 20 万分の 1 日本火山図 (Ver. 1.0d), <https://gbank.gsj.jp/volcano/vmap/>, 2022 年 9 月 25 日閲覧.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター (2022) 20 万分の 1 日本シームレス地質図 V2, <https://gbank.gsj.jp/seamless/v2.html>, 2023 年 9 月 25 日閲覧.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター:地殻応力場データベース, <https://gbank.gsj.jp/crstress/>, 2023 年 9 月 25 日閲覧.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター:海域地質構造データベース, <https://gbank.gsj.jp/marineseisdb/>, 2023 年 9 月 25 日閲覧.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター:第四紀火山, [https://gbank.gsj.jp/volcano/Quat\\_Vol/index.html](https://gbank.gsj.jp/volcano/Quat_Vol/index.html), 2023 年 9 月 27 日閲覧.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター:地質図表示システム 地質図 Navi, <https://gbank.gsj.jp/geonavi/>, 2023 年 9 月 25 日閲覧.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター:地熱情報データベース (GRES-DB), <https://gbank.gsj.jp/gres-db/>, 2022 年 5 月 11 日閲覧.
- 産業技術総合研究所地質調査総合センター:日本の活火山, [https://gbank.gsj.jp/volcano/Act\\_Vol/index.html](https://gbank.gsj.jp/volcano/Act_Vol/index.html), 2022 年 5 月 10 日閲覧.
- Sano, Y., Wakita, H. (1985) Geographical distribution of  $^3\text{He}/^4\text{He}$  ratios in Japan: Implications for arc tectonics and incipient magmatism, *Journal of Geophysical Research*, 90, B10, pp. 8729–8741.
- 佐藤比呂志 (1989) 東北本州弧における後期新生界の変形度について, *地質学論集*, 32, pp. 257–268.
- Sawada, Y. (1962) The Geology and Paleontology of the Setana and Kuromatsunai Areas in Southwest Hokkaido, Japan, *Memoirs of the Muroran Institute of Technology*, 4, 1, pp. 1–110.
- 沢井長雄, 雁沢好博 (1988) 札幌市豊羽鉱山周辺の新第三系酸性凝灰岩のフィッシュ・トラック年代, *鉱山地質*, 38, 6, pp. 517–525.
- Sawai, O., Okada, T., Itaya, T. (1989) K-Ar ages of sericite in hydrothermally altered rocks around the Toyoha deposits, Hokkaido, Japan, *Mining Geology*, 39, 3, pp. 191–204.
- 沢井長雄, 米田哲朗, 板谷徹丸 (1992) 西南北海道千歳・轟・手稲金銀鉱脈鉱床の K-Ar 年代, *資源地質*, 42, 5, pp. 323–330.
- 沢井長雄, 板谷徹丸 (1993) 西南北海道積丹-洞爺地域の黒鉱型鉱床の K-Ar 年代, *資源地質*, 43, 3, pp. 165–172.
- 沢井長雄, 板谷徹丸 (1996) 西南北海道積丹半島に分布する熱水鉱床の K-Ar 年代, *資源地質*, 46, 6, pp. 327–336.
- 沢井長雄, 板谷徹丸 (1996) 西南北海道小樽-支笏地域の鉱脈鉱床の K-Ar 年代, *資源地質*, 46, 1, pp. 33–42.
- 沢井長雄, 板谷徹丸 (2015) 西南北海道積丹-洞爺地域の熱水鉱床の K-Ar 年代, *地質技術*, 5, pp. 1–10.
- 沢 俊明 (1961) 神恵内村珊内-オブカル石地区鉱床調査報告, 北海道総合開発計画調査 特殊地帯地下資源開発調査資料 昭和 35 年度 積丹半島地下資源開発調査報告, pp. 23–32, 北海道開発局.
- 沢 俊明, 成田英吉 (1962) I 古宇郡神恵内村珊内-オブカル石地区鉱床調査報告, 北海道総合開発計画調査 特殊地帯地下資源開発調査資料 昭和 36 年度 積丹半島地下資源開発調査報告, pp. 1–12, 北海道開発局.
- 沢 俊明, 山田敬一, 成田英吉, 斎藤正雄, 番場猛夫, 五十嵐昭明 (1963) 北海道金属非金属鉱床総覧 II. 新第三紀の鉱化作用, *地質調査所*.
- 瀬川秀良 (1974) 日本地形誌 北海道地方, 朝倉書店.
- 関根達夫 (2018) 泊原発の地質的問題点について, *地学教育と科学運動*, 81, pp. 47–50.
- 柴田智郎, 高橋徹哉, 岡崎紀俊, 廣瀬 亘, 秋田藤夫, 高橋 良 (2010) ニセコ地域の温泉資源に関する研究 (東部~南部地域), 平成 22 年地質研究所調査研究成果報告会報告資料集, p. 28, 北海道立総合研究機構地質研究所.
- 柴田智郎 (2011) 化学組成からみたニセコ地域の温泉—南部から東部の温泉の特徴—, 第 49 回試錐研究会講演資料集, pp. 50–56, 北海道立総合研究機構環境・地質研究本部地質研究所.
- 柴田智郎, 高橋徹哉, 岡崎紀俊, 高橋 良, 秋田藤夫 (2011) ニセコ地域南部から東部山麓における温泉の地域的特徴について, *北海道地質研究所報告*, 82, pp. 1–8.
- 柴田智郎, 秋田藤夫, 高橋徹哉, 岡崎紀俊 (2011) ニセコ地域における温泉湧出量と降水量の関係, *北海道地質研究所報告*, 83, pp. 63–65.
- 茂野 博 (2011) 北海道 胆振地方, 白老地域と周辺 3 広域地域の「温泉水」の地球化学・同位体化学的な特徴と起源—「深層熱水型資源」・「大深度 (掘削) 温泉」の事例研究—, *地質調査研究報告*, 62, 3/4, pp. 143–176.
- Shiina, T., Takahashi, H., Okada, T., Matsuzawa, T. (2018) Implications of seismic velocity structure at the junction of Kuril-northeastern Japan arcs on active shallow seismicity and deep low-frequency earthquakes, *Journal of Geophysical Research: Solid Earth*, 123, pp. 8732–8747.
- 嶋村 清 (2008) 改訂「日本列島海底谷系図」—海底谷の地形的特徴と問題点—, *地質学雑誌*, 114, 11, pp. 560–576.

- 清水文健, 井口 隆, 大八木規夫 (2010) 地すべり地形分布図第 45 集「岩内」, 防災科学技術研究所研究資料, 339.
- Shimizu, T., Aoki, M. (2011) Hydrothermal alteration and K-Ar ages of Neogene-Quaternary magmatic-hydrothermal systems at Toyoha-Muine area in Southwest Hokkaido, Japan, *Resource Geology*, 61, 2, pp. 192-209.
- 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (2021) 2018 年度～2020 年度成果報告書 超臨界地熱発電技術研究開発/超臨界地熱資源の評価と調査井仕様の詳細設計/東日本・九州地域における超臨界地熱資源有望地域の調査と抽熱可能量の推定.
- 新エネルギー総合開発機構 (1985) 昭和 59 年度全国地熱資源総合調査 (第 2 次) 火山性熱水対流系地域タイプ① (ニセコ地域) 調査 火山岩分布年代調査報告書.
- 新エネルギー総合開発機構 (1985) 昭和 59 年度全国地熱資源総合調査 (第 2 次) 火山性熱水対流系地域タイプ① (ニセコ地域) 調査 火山岩分布年代調査報告書要旨.
- 新エネルギー総合開発機構 (1986) 昭和 60 年度全国地熱資源総合調査 (第 2 次) 火山性熱水対流系地域タイプ① (ニセコ地域) 調査 火山岩分布年代調査報告書.
- 新エネルギー総合開発機構 (1987) 全国地熱資源総合調査 (第 2 次) 火山性熱水対流系地域タイプ①ニセコ地域火山地質図及び地熱地質編図.
- 新エネルギー総合開発機構 (1987) 昭和 61 年度全国地熱資源総合調査 (第 2 次) 火山性熱水対流系地域タイプ① (ニセコ地域) 地熱調査成果図集.
- 新エネルギー総合開発機構 (1988) 豊羽地域, 地熱開発促進調査報告書, 12.
- 新エネルギー総合開発機構 (1995) 阿女鱒岳地域, 地熱開発促進調査報告書, 36.
- 周藤賢治, 土谷信高, 田村真一, 山崎哲良 (1989) 後志海山からドレッチされた第四紀火山岩の微量元素, 岩鉱, 84, 4, p. 123.
- Siddall, M., Chappell, J., Potter, E. K. (2007) Eustatic sea level during past interglacials, In: Sirocko, F., Claussen, M., Sánchez Goñi, M. F., Litt, T. (Eds.), *The Climate of Past Interglacials*, Elsevier, pp. 75-92.
- 相馬寛吉, 辻 誠一郎 (1988) 植物化石からみた日本の第四紀, 第四紀研究, 26, 3, pp. 281-291.
- Spratt, R. M., Lisiecki, L. E. (2016) A Late Pleistocene sea level stack, *Climate of the Past*, 12, pp. 1079-1092.
- 須田芳朗, 村田泰章, 菊地恒夫, 花岡尚之 (1991) 岩石物性値データベース (PROCK), 地質調査所研究資料集, 155, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 須藤定久 (1998) 200 万分の 1 総合鉱物資源図 (試作版), 地質調査総合センター研究資料集, 355.
- 須藤定久, 小笠原正継 (2005) 鉱物資源図 南西諸島, 鉱物資源図, 7, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- Sueoka, S., Tagami, T. (2019) Low-temperature thermochronological database of bedrock in the Japanese Islands, *Island Arc*, 28, 4, e12305, doi: 10.1111/iar.12305.
- 杉本良也 (1962) 北海道の重晶石鉱床, 地下資源調査所報告, 26, pp. 1-66.
- 角 清愛 (1975) 日本温泉分布図 (第 2 版), 200 万分の 1 地質編集図, 8, 地質調査所.
- 角 清愛, 金原啓司, 高島 勲 (1979) 日本の熱水変質帯分布図 1. 鮮新世後期-完新世, 200 万分の 1 地質編集図, 19-1, 地質調査所.
- 角 清愛 (1980) 日本温泉放熱量分布図, 200 万分の 1 地質編集図, 21, 地質調査所.
- 角 清愛, 高島 勲編 (1980) 日本地熱資源賦存地域分布図, 200 万分の 1 地質編集図, 20, 地質調査所.
- 住鉱コンサルタント (1982) 昭和 56 年度広域調査積丹地域重力探査報告書.
- 住鉱コンサルタント (1983) 昭和 57 年度広域調査積丹地域重力探査報告書.
- 鈴木秀夫 (1962) 低位周氷河現象の南限と最終氷期の気候区界, 地理学評論, 35, 2, pp. 67-76.
- 鈴木秀夫 (1966) 日本における凍結融解交代日数の分布 (短報), 地理学評論, 39, 4, pp. 267-270.
- 鈴木貞臣, 本谷義信 (1981) 北海道の微小地震活動—テレメータ観測による—, 地震 第 2 輯, 34, pp. 251-267.
- 鈴木達夫 (1930) 後志國茅沼炭田調査報文, 鑛物調査報告 (北海道之部), 37, pp. 1-24, 地質調査所.
- 鈴木豊重, 川森博史, 内田 豊, 竹林 勇 (1976) ニセコ町の温泉ボーリング調査報告, 地下資源調査所報告, 48, pp. 117-122.
- 鈴木豊重, 川森博史, 高橋徹哉, 大津 直, 鈴木隆広, 藤本和徳編 (1995) 北海道市町村の地熱・温泉ボーリング—地域エネルギー開発利用施設整備事業—(昭和 55 年度～平成 5 年度), 北海道立地下資源調査所.
- 鈴木尉元 (1979) 北海道とその周辺地域の中・深発地震の発震機構と地質構造との関係, 地球科学, 33, 6, pp. 313-318.

## T

- 多田 堯, 橋本 学 (1985) 北海道地方の水平変動とテクトニクス, 地震学会講演予稿集昭和 60 年度秋季大会, 2, p. 33.
- 多田 堯 (1986) 北海道東部～南西部のテクトニクス, 地震学会講演予稿集昭和 61 年度春季大会, 1, p. 53.
- 多田 堯, 木村 学 (1987) 千島弧南西端における衝突現象と地殻変動, 地震 第 2 輯, 40, 2, pp. 197-204.
- 田近 淳 (1997) 417 積丹半島沿前地すべりの移動過程, 日本地質学会第 104 年学術大会講演要旨, p. 307.
- 田近 淳, 岡村俊邦 (2010) 大規模地すべり地形の発達:

- 積丹半島沼前地すべりの例, 日本地すべり学会誌, 47, 2, pp. 91-97.
- 田近 淳 (2023) 地すべり探訪 18 早春の積丹半島沼前地すべりを訪ねて, 日本地すべり学会誌, 60, 3, pp. 122-124.
- 高橋浩晃, 宮村淳一, 郷家幸治 (1999) 北海道で発生した深部低周波地震, 北海道大学地球物理学研究報告, 62, pp. 25-41.
- 高橋浩晃, 宮村淳一 (2009) 日本列島における深部低周波地震の発生状況, 北海道大学地球物理学研究報告, 72, pp. 177-190.
- 高橋正明, 風早康平, 安原正也, 塚本 斉, 佐藤 努, 高橋 浩, 森川徳敏, 清水 徹, 宮越昭暢, 戸崎裕貴, 東郷洋子, 稲村明彦, 半田宙子, 仲間純子, 中村有理, 竹内久子, 大丸 純, 清水日奈子, 尾山洋一, 大和田道子, 切田 司 (2018) 深層地下水データベース (第2版), 地質調査総合センター研究資料集, 653.
- 高橋昌幸編 (2012) 懐郷かもえない, 神恵内村.
- 高見雅三, 鈴木隆広, 高橋徹哉, 柴田智郎, 小澤 聡, 藤本和徳, 秋田藤夫 (2008) 北海道における地熱・温泉利用の現状—2007年版—, 北海道立地質研究所.
- 高見雅三, 鈴木隆広, 高橋徹哉, 柴田智郎, 小澤 聡, 藤本和徳, 秋田藤夫 (2008) 北海道地熱・温泉ボーリング井データ集および索引図 (統合版), 北海道立地質研究所.
- Takashima, K., Igarashi, T. (1973) Metallogenic map of Japan, 1:2,000,000 map series, 14, Geological Survey of Japan.
- Takashima, K., Igarashi, T. (1979) Distribution map of manganese ore deposits in Japan, 1:2,000,000 map series, 17-4, Geological Survey of Japan.
- 高清水康博 (2013) 北海道の津波堆積物研究の現状と課題: 17世紀巨大津波による堆積物の研究を中心に, 地質学雑誌, 119, 9, pp. 599-612.
- 竹田輝雄他 (1979) 北海道発掘調査シリーズ No.6 茶津洞窟遺跡群—積丹半島調査報告書—, 北海道出版企画センター.
- 竹内 章 (1989) 西北北海道の新时期力場とテクトニクス, 日本地質学会第96年学術大会講演要旨, p. 455.
- 竹内 章, 田中武男 (1990) 後志海山の地形地質とテクトニクス, 海洋科学技術センター試験研究報告, 6, pp. 317-326.
- 竹内 章, 岡村行信, 加藤幸弘, 池原 研, 張 勁, 佐竹健治, 長尾哲史, 平野真人, 渡辺真人 (2000) 日本海東縁, 奥尻海嶺および周辺の大地震と海底変動, JAMSTEC 深海研究, 16, pp. 29-46.
- 玉木賢策, 湯浅真人, 西村清和, 本座栄一, 宮崎輝旗, 石原丈実 (1979) 北海道周辺日本海及びオホーツク海域広域海底地質図, 海洋地質図, 14, 地質調査所.
- 玉生志郎, 松波武雄, 金原啓司, 川村政和, 駒澤正夫, 阪口圭一 (2001) 50万分の1札幌地熱資源図及び同説明書, 特殊地質図, 31-4, 地質調査所.
- 玉生志郎, 高橋正明, 松波武雄, 金原啓司, 川村政和, 駒澤正夫, 阪口圭一 (2002) 50万分の1地熱資源図「札幌」及び「青森」, 地質ニュース, 572, pp. 21-23, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 田村 慎 (2018) 岩内町における地熱・温泉資源の開発可能性について, 平成30年度調査研究成果発表会資料集, p. 40, 北海道立総合研究機構環境・地質研究本部地質研究所.
- 田村 慎 (2020) MT法探査による3次元比抵抗構造, 産業技術環境研究本部 エネルギー・環境・地質研究所 調査研究成果資料集 令和2年度 (2020年度), S-2.
- 田村 慎 (2020) ニセコ地域における地熱資源探査, 第58回試錐研究会講演資料集, pp. 43-48, 北海道立総合研究機構環境・地質研究本部地質研究所.
- Tamura, M., Oka, D., Okazaki, N., Suzuki, K., Hashimoto, T., Mogi, T. (2022) Magnetotelluric survey and three-dimensional resistivity structure in and around the Niseko area, southwestern Hokkaido, Geothermics, 105, 102496, doi: 10.1016/j.geothermics.2022.102496.
- Tamura, Y., Tatsumi, Y., Zhao, D., Kido, Y., Shukuno, H. (2002) Hot fingers in the mantle wedge: new insights into magma genesis in subduction zones, Earth and Planetary Science Letters, 197, pp. 105-116.
- 田村芳彦 (2003) 東北日本弧と大和海洋盆周辺のマグマの成因関係—「熱い指」のダイナミックモデル—, 地学雑誌, 112, 5, pp. 781-793.
- 田村芳雄, 津 宏治, 中井順二 (1974) 積丹・奥尻海域空中磁気図, 空中磁気図, 10, 地質調査所.
- Tanai, T. (1961) Neogene Floral Change in Japan, Journal of the Faculty of Science, Hokkaido University. Series 4, Geology and mineralogy, 11, 2, pp. 119-398.
- 棚井敏雅 (1963) 日本海における新第三紀植物群の変遷, 化石, 5, pp. 51-62.
- 田中明子, 大久保泰邦, 松林 修 (1997) 東・東南アジア地域のキュリー点深度解析, 地震 第2輯, 50, pp. 183-194.
- 田中明子, 矢野雄策, 笹田政克, 大久保泰邦, 梅田浩司, 中司 昇, 秋田藤夫 (1999) 坑井の温度データによる日本の地温勾配値のコンパイル, 地質調査所月報, 50, 7, pp. 457-487.
- Tanaka, A. (2004) Geothermal gradient and heat flow data in and around Japan (II): Crustal thermal structure and its relationship to seismogenic layer, Earth, Planets and Space, 56, pp. 1195-1199.
- Tanaka, A., Yamano, M., Yano, Y., Sasada, M. (2004) Geothermal gradient and heat flow data in and around Japan (I): Appraisal of heat flow from geothermal gradient data, Earth, Planets and

- Space, 56, pp. 1191–1194.
- 田中明子, 山野 誠, 矢野雄策, 笹田政克 (2004) 日本列島及びその周辺域の地温勾配及び地殻熱流量データベース, 数値地質図, P-5, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- 田中明子, 濱元栄起, 山野 誠, 後藤秀作 (2019) 日本列島及びその周辺域の熱データベース, [https://www.gsj.jp/Map/JP/docs/jm100\\_doc/jm\\_geothermal-db.html](https://www.gsj.jp/Map/JP/docs/jm100_doc/jm_geothermal-db.html), 2022年5月11日閲覧.
- Tanaka, H., Tsunakawa, H., Yamagishi, H., Kimura, G. (1991) Paleomagnetism of the Shakotan Peninsula, West Hokkaido, Japan, *Journal of Geomagnetism and Geoelectricity*, 43, 4, pp. 277–294.
- Terakawa, T., Matsu'ura, M. (2010) The 3-D tectonic stress fields in and around Japan inverted from centroid moment tensor data of seismic events, *Tectonics*, 29, TC6008, doi: 10.1029/2009TC002626.
- 徳永重元, 高井保明, 曾我部正敏, 谷 正巳, 植田芳郎, 井上英二, 鈴木泰輔, 尾上 亨 (1973) 日本炭田図 第2版, 200万分の1地質編集図, 5, 地質調査所.
- 徳山英一, 本座栄一, 木村政昭, 倉本真一, 芦 寿一郎, 岡村行信, 荒戸裕之, 伊藤康人, 徐 垣, 日野亮太, 野原 壯, 阿部寛信, 坂井眞一, 向山建二郎 (2001) 日本周辺海域中新世最末期以降の構造発達史, *海洋調査技術*, 13, 1, pp. 27–53, 付図.
- 東宮昭彦, 宮城磯治 (2020) 洞爺噴火の年代値, *火山*, 65, 1, pp. 13–18.
- 豊浜トンネル崩落事故調査委員会 (1996) 豊浜トンネル崩落事故調査報告書.
- 椿原慎一 (1990) 地殻の変形様式からみた西南北海道のテクトニクス, *日本地質学会第97年学術大会講演要旨*, p. 366.
- Tsuchiya, N., Ishii, J., Yamazaki, T., Shuto, K. (1989) A newly discovered Quaternary volcano from northeast Japan Sea: K-Ar age of andesite dredged from the Shiribeshi Seamount, *Journal of Mineralogy, Petrology and Economic Geology*, 84, 11, pp. 391–397.
- Tsukada, M. (1985) Map of vegetation during the last glacial maximum in Japan, *Quaternary Research*, 23, pp. 369–381.
- 対馬坤六 (1968) 20万分の1地質図幅「岩内」, 20万分の1地質図, NK-54-20, 地質調査所.
- 通商産業省 (1971) 昭和45年度広域調査報告書 国富地域.
- 通商産業省資源エネルギー庁 (1985) 昭和59年度広域調査報告書 積丹地域.
- 通商産業省資源エネルギー庁 (1986) 昭和60年度広域調査報告書 積丹地域.
- 通商産業省資源エネルギー庁 (1987) 昭和61年度広域地質構造調査報告書 積丹地域.
- 通商産業省資源エネルギー庁 (1988) 昭和62年度広域地質構造調査報告書 積丹地域.
- 通商産業省資源エネルギー庁 (1989) 昭和63年度広域地質構造調査報告書 積丹地域.
- 通商産業省資源エネルギー庁 (2000) 平成11年度広域地質構造調査報告書 北海道南部地域.
- ### U
- 内田康人, 菅 和哉, 嵯峨山 積, 村山泰司, 濱田誠一, 川森博史, 大澤賢人, 仁科健二 (2003) 北海道沿岸域の地質・底質環境—3—日本海北部海域, 北海道立地質研究所調査研究報告, 31.
- Uchide, T., Shiina, T., Imanishi, K. (2022) Stress map of Japan: Detailed nationwide crustal stress field inferred from focal mechanism solutions of numerous microearthquakes, *Journal of Geophysical Research: Solid Earth*, 127, e2022JB024036, doi: 10.1029/2022JB024036.
- 内出崇彦, 椎名高裕, 今西和俊 (2022) 日本全国内陸部の地殻内応力マップと微小地震の発震機構解のデジタルデータ, 地質調査総合センター研究資料集, 738, p. 6.
- 内野栄治, 青柳直樹, 市橋大山, 中山憲司 (2011) 湧出形態別に見た道内温泉のホウ素濃度, *温泉科学*, 61, 1, pp. 2–22.
- 上野将司, 山岸宏光 (2002) わが国の岩盤崩壊の諸例とその地形地質学的検討—とくに発生場と発生周期について—, *地すべり*, 39, 1, pp. 40–47.
- 上澤真平, 伊藤久敏 (2020) 北海道南西部, 羊蹄火山東麓に分布する緑色凝灰岩層のジルコン U-Pb 年代, *地質学雑誌*, 126, 10, pp. 589–595.
- 梅田浩司, 小松 亮, 中司 昇 (1999) 坑井データによる地下温度構造の推定, *サイクル機構技報*, 2, pp. 29–36.
- 宇佐美龍夫, 石井 寿, 今村隆正, 武村雅之, 松浦律子 (2013) 日本被害地震総覧 599–2012, 東京大学出版会.
- 宇佐美龍夫編 (2020) 日本歴史地震総表 2020 416–1872.
- 右代啓視, 赤松守雄, 山田悟郎 (1992) 積丹半島における洞窟・岩陰遺跡とその地質学的意義, *北海道開拓記念館研究報告*, 12, pp. 93–106.
- 宇津徳治 (1968) 4.北海道およびその周辺の地震活動, *北海道大学地球物理学研究報告*, 20, pp. 51–75.
- 宇津徳治 (1982) 日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表: 1885年～1980年, *地震研究所彙報*, 57, 3, pp. 401–463.
- 宇津徳治, 嶋 悦三, 吉井敏尅, 山科健一郎編 (2001) 地震の事典 第2版, 朝倉書店.
- ### W
- Wada, I., He, J., Hasegawa, A., Nakajima, J. (2015)

- Mantle wedge flow pattern and thermal structure in Northeast Japan: Effects of oblique subduction and 3-D slab geometry, *Earth and Planetary Science Letters*, 426, pp. 76–88.
- 若浜 洋, 秋田藤夫, 松波武雄 (1995) 北海道地温勾配図及び説明書, 60 万分の 1 地質図, 北海道立地下資源調査所.
- 若生達夫 (1969) 段丘面勾配・堆積物および背後斜面—海岸段丘を主として—, *東北地理*, 21, 4, pp. 179–184.
- Wang, J., Zhao, D. (2009) P-wave anisotropic tomography of the crust and upper mantle under Hokkaido, Japan, *Tectonophysics*, 469, pp. 137–149.
- Wang, Z., Zhao, D., Liu, X., Chen, C., Li, X. (2017) P and S wave attenuation tomography of the Japan subduction zone, *Geochemistry, Geophysics, Geosystems*, 18, pp. 1688–1710.
- Wang, Z., Zhao, D. (2019) Updated attenuation tomography of Japan subduction zone, *Geophysical Journal International*, 219, pp. 1679–1697.
- Wang, Z., Zhao, D. (2021) 3D anisotropic structure of the Japan subduction zone, *Science Advances*, 7, eabc9620, doi: 10.1126/sciadv.abc9620.
- Wang, Z., Zhao, D. (2005) Seismic imaging of the entire arc of Tohoku and Hokkaido in Japan using P-wave, S-wave and sP depth-phase data, *Physics of the Earth and Planetary Interiors*, 152, pp. 144–162.
- 渡部真人, 山田悟郎, 赤松守雄, 中田幹雄 (1989) 北海道南部岩内平野に分布する未区分第四系の層序, 北海道開拓記念館調査報告, 28, pp. 7–18.
- 渡部真人, 赤松守雄, 山田悟郎 (1990) 北海道南部の日本海岸に分布する海成段丘面の対比とそれに伴う第四系の層序, および積丹半島の第四紀における構造地質学的性格, 北海道開拓記念館調査報告, 29, pp. 147–159.
- 渡辺真人 (2000) GH99 航海で採取された泥岩試料の珪藻化石に基づく年代, 地質調査所速報, MG/00/1, pp. 90–93.
- 渡辺満久, 中田 高, 鈴木康弘 (2009) 積丹半島西岸の地殻変動と海底活断層, 日本地震学会 2009 年度秋季大会講演予稿集, D31-09, p. 141.
- 渡辺満久, 中田 高, 後藤秀昭, 鈴木康弘, 西澤あずさ, 堀内大嗣, 木戸ゆかり (2013) 日本海東縁の海底活断層, 日本地理学会発表要旨集, 2013 年度日本地理学会春季学術大会, p. 100161.
- 渡辺満久, 中田 高, 鈴木康弘 (2013) 積丹半島西岸の地震性隆起海岸地形と海底活断層, 日本活断層学会秋季学術大会講演予稿集, pp. 40–41.
- 渡辺満久 (2015) 積丹半島沿岸の変動地形, 日本地理学会発表要旨集, 2015 年度日本地理学会秋季学術大会, p. 100024.
- 渡辺満久 (2015) 積丹半島西方断層の活動と積丹半島の隆起, 日本活断層学会秋季学術大会講演予稿集, pp. 48–49.
- 渡辺満久, 鈴木康弘 (2015) 「泊原子力発電所の新規制基準適合性に関わる審査」の問題点, *科学*, 85, 7, pp. 721–726.
- 渡辺満久 (2016) 積丹半島の活構造—原子力規制委員会による不適切な評価, 日本地球惑星科学連合大会予稿集, HSC16-07.
- 渡辺満久 (2016) 泊原子力発電所敷地内の活構造と「将来活動する可能性のある断層等」, 日本活断層学会秋季学術大会講演予稿集, pp. 24–25.
- 渡辺満久, 小野有五 (2018) 泊原子力発電所敷地内の断層活動時期に関する問題—原子力規制委員会による適正な審査のために (2), *科学*, 88, 11, pp. 1086–1090.
- 渡辺満久 (2022) 泊原子力発電所の安全審査に関する問題—反論できないことは無視するののか, *科学*, 92, 1, pp. 7–10.
- 渡辺暉夫 (1999) 第 2 白糸トンネル岩盤崩落と渡島半島西縁部の地質, 北海道地区自然災害科学資料センター報告, 14, pp. 3–16.
- 渡辺 寧 (1986) 鉾脈の方向から推定された広域応力場—北海道における中期中新世以降の鉾脈の例—, *鉾山地質*, 36, 3, pp. 209–218.
- Watanabe, Y. (1990) Pliocene to Pleistocene volcanism and related vein-type mineralization in Sapporo-Iwanai district, Southwest Hokkaido, Japan, *Mining Geology*, 40, 5, pp. 289–298.
- Watanabe, Y. (1991) Mineralization ages of Ofukeshi, Shizukari, Yakumo and Jokoku deposits and structural movements related to vein-type mineralization in Southwest Hokkaido, *Mining Geology*, 41, 3, pp. 141–146.
- 渡辺 寧, 渡辺真人 (1992) K-Ar 年代および珪藻化石群集に基づく西南北海道北部の火山砕屑岩類の層序と年代, *地球科学*, 46, 2, pp. 143–152.
- 渡辺 寧 (1993) 岩脈・火口配列に基づく西南北海道北部の新生代後期の応力場, *地質学雑誌*, 99, 2, pp. 105–116.
- 渡辺 寧 (1993) 西南北海道における新生代後期の応力場の転換と鉾化作用, *資源地質*, 43, 3, pp. 214–215.
- 渡辺 寧 (1993) 西南北海道北部の火山列—ニセコ-羊蹄火山列はなぜ曲がったのか?—, 石井次郎教授追悼論文集, pp. 147–154.
- Watanabe, Y. (1995) Epithermal vein-type mineralization in a compressive stress field, southwest Hokkaido, Japan, *Global Tectonics and Metallogeny*, 5, 1&2, pp. 19–27.
- Watanabe, Y., Ohta, E. (1999) Late Miocene magmatic-hydrothermal systems in the Jozankei-Zenibako district, Southwest Hokkaido, Japan,

- Resource Geology, 49, 2, pp. 59–74.
- 渡辺 寧 (2000) 札幌-岩内地域マグマ-鉍化熱水系分布図, 特殊地質図, 38, 地質調査所.
- 渡辺 寧 (2001) 豊羽鉍床とプレート・テクトニクス, 地質ニュース, 564, pp. 6–15, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- Watanabe, Y. (2002) Late Cenozoic metallogeny of Southwest Hokkaido, Japan, Resource Geology, 52, 3, pp. 191–210.
- 渡辺 寧 (2002) 札幌-岩内地域マグマ-鉍化熱水系分布図, 地質ニュース, 572, pp. 24–25, 産業技術総合研究所地質調査総合センター.
- Wei, D. and Seno, T. (1998) Determination of the Amurian Plate Motion, In: Flower, M. F., Chung, S. L., Lo, C. H., Lee, T. Y. (Eds.), Mantle Dynamics and Plate Interactions in East Asia, Geodynamics Series, American Geophysical Union, 27, pp. 337–346.
- Wirth, E. A., Korenaga, J. (2012) Small-scale convection in the subduction zone mantle wedge, Earth and Planetary Science Letters, 357–358, pp. 111–118.
- Y**
- 八幡正弘 (1989) 西南北海道北部の新生界とその特徴, 地質学論集, 32, pp. 7–28.
- 八幡正弘, 黒沢邦彦, 岡村 聡 (2000) 西北北海道, 小樽-赤井川地域に分布する新第三系火山岩層序と鉍化作用, 北海道立地質研究所報告, 71, pp. 49–58.
- 八幡正弘 (2002) 北海道における後期新生代の鉍化作用および熱水活動の時空変遷, 北海道立地質研究所報告, 73, pp. 151–194.
- 八幡正弘 (2005) 北海道の新生代鉍床区における熱水活動履歴, 地球科学, 59, 3, pp. 193–212.
- 矢島淳吉, 羽坂俊一, 太田英順, 渡辺 寧, 中川 充, 成田英吉 (1991) 北海道における金属・非金属資源産出量とその特徴—特に新第三紀—第四紀鉍化作用について—, 地質調査所月報, 42, 10, pp. 527–542.
- 矢島淳吉, 太田英順, 渡辺 寧 (1993) 豊羽鉍床の生成様式, 地質調査所月報, 44, 2/3/4, pp. 239–249.
- 山田敬一, 須藤定久, 佐藤壮郎, 藤井紀之, 沢 俊明, 服部 仁, 佐藤博之, 相川忠之 (1980) 全国金属鉍山基礎資料集 第 1 巻 東北日本, 地質調査所報告, 第 260 号 別冊 1.
- 山田敬一, 須藤定久, 佐藤壮郎, 藤井紀之, 沢 俊明, 服部 仁, 佐藤博之, 相川忠之 (1980) 全国金属鉍山基礎資料集 第 2 巻 西南日本, 地質調査所報告, 第 260 号 別冊 2.
- 山田悟郎, 赤松守雄, 渡部真人, 三野紀雄, 中田幹雄 (1988) 積丹半島に分布する瀬棚層相当層と第四系から産出した花粉化石について, 北海道開拓記念館調査報告, 27, pp. 3–12.
- 山田悟郎, 渡部真人, 赤松守雄 (1992) 積丹半島の第四系について, 北海道開拓記念館研究報告, 12, pp. 19–34.
- 山田直利, 斎藤英二, 村田泰章 (1990) コンピューター編集による日本地質図及び説明書, 200 万分の 1 地質編集図, 22, 地質調査所.
- 山縣耕太郎 (1994) 支笏およびクッタラ火山のテフロクロノロジー, 地学雑誌, 103, 3, pp. 268–285.
- 山岸宏光, 土居繁雄 (1971) 盃川および茂岩川流域の地質鉍床, 北海道地下資源調査資料, 122, pp. 11–20, 北海道開発庁.
- 山岸宏光, 国府谷盛明, 安藤重幸 (1976) 5 万分の 1 地質図幅「島古丹」及び説明書, 5 万分の 1 地質図, 札幌-第 26 号, 北海道立地下資源調査所.
- 山岸宏光, 石井正之 (1979) 5 万分の 1 地質図幅「余別および積丹岬」及び説明書, 5 万分の 1 地質図, 札幌-第 8, 1 号, 北海道立地下資源調査所.
- 山岸宏光, 積丹団研グループ (1979) 積丹半島西南部の地質と火成活動—とくに, 層序とハイアロクラスタイトについて—, 地質学論集, 16, pp. 195–212.
- 山岸宏光 (1980) 5 万分の 1 地質図幅「神恵内」及び説明書, 5 万分の 1 地質図, 札幌-第 17 号, 北海道立地下資源調査所.
- Yamagishi, H. (1981) Geology of the Shakotan Peninsula, Hokkaido, Japan, Report of the Geological Survey of Hokkaido, 52, pp. 1–29.
- Yamagishi, H. (1982) Miocene subaqueous volcanoclastic rocks of the Oshoro Peninsula, Southwest Hokkaido, Japan, The Journal of the Geological Society of Japan, 88, 1, pp. 19–29.
- 山岸宏光 (1982) 西南北海道北部の地質とテクトニクス, 日本地質学会第 89 年学術大会講演要旨, p. 512.
- 山岸宏光 (1986) 島弧横断ルート No.1 (a: 積丹岬, b: 茅沼-古平), 北村 信編: 新生代東北本州弧地質資料集, 宝文堂, 1, 1.
- 山岸宏光, 渡辺 寧 (1986) 西南北海道における新生代後期の応力場の変遷—地質断層, 岩脈, 鉍脈および活断層の検討—, 北海道の地質と構造運動, 地団研専報, 31, pp. 321–331.
- 山岸宏光 (1989) 西南北海道における新第三紀火山岩相の特徴と噴火活動略史, 地質学論集, 32, pp. 385–397.
- Yamagishi, H., Matsuda, Y. (1991) The Neogene submarine felsic rocks at Yoichi Beach, Shakotan Peninsula, The Journal of the Geological Society of Japan, 97, 4, pp. 269–277.
- 山岸宏光, 伊藤陽司 (1993) 北海道における地すべり地形の分布からみた地質分帯, 地すべり, 30, 2, pp. 1–9.
- 山岸宏光編 (1993) 北海道の地すべり地形 分布図とその解説, 北海道大学図書刊行会.
- 山岸宏光 (1994) 水中火山岩 アトラスと用語解説, 北海道大学出版会.

- 山岸宏光 (1996) ハイアロクラスタイトと岩盤崩落, 北海道地区自然災害科学資料センター報告, 11, pp. 9–23.
- 山岸宏光, 志村一夫 (1997) 1997年8月北海道島牧村第二白糸トンネルを破壊した新第三紀ハイアロクラスタイトの岩盤崩落, 地質学雑誌, 103, 10, pp. XXXIII–XXXIV.
- 山岸宏光 (1998) 北海道における高速ランドスライド, 地すべり, 34, 4, pp. 19–26.
- 山岸宏光編 (2012) 北海道の地すべり地形デジタルマップ, 北海道大学出版会.
- 山口久之助, 小原常弘 (1953) 茅沼炭鉱管井位置探査報告, 北海道地下資源調査報告, 9, pp. 24–28, 北海道地下資源調査所.
- 山口久之助, 小原常弘, 早川福利, 佐藤 巖, 二間瀬 洸, 横山英二, 小山内 熙, 松下勝秀, 国府谷盛明 (1964) 北海道水理地質図「札幌」及び説明書, 北海道水理地質図幅, 8, 北海道立地下資源調査所.
- 山口昇一, 秦 光男, 沢 俊明, 斎藤正雄, 番場猛夫, 山田敬一, 成田英吉, 五十嵐昭明, 佐藤博之, 石田正夫, 対馬坤六 (1965) 北海道金属非金属鉱床総覧 IV. 北海道地質図, 地質調査所.
- 山本明彦, 石川春義 (2002) 北海道渡島半島南部の重力異常と浅部地殻構造, 北海道大学地球物理学研究報告, 65, pp. 247–290.
- 山元孝広 (2014) 日本の主要第四紀火山の積算マグマ噴出量階段図, 地質調査総合センター研究資料集, 613.
- 山井忠世, 加藤芳郎, 岡崎彦哉 (1995) 北海道南部における広域地質環境評価のための断裂系調査, 動力炉・核燃料開発事業団 契約業者報告書 PNC-TJ1361 95-001, アジア航測.
- 柳町 治 (1992) 現在の日本における周氷河帯およびその推移帯と永久凍土帯との関係, 地理学評論, 65A, 2, pp. 143–157.
- 矢野牧夫 (1989) 北海道の更新世におけるブナ林の消長, 北海道開拓記念館研究年報, 17, pp. 1–11.
- 矢野雄策, 田中明子, 高橋正明, 大久保泰邦, 笹田政克, 梅田浩司, 中司 昇 (1999) 日本列島地温勾配図, 地質調査所.
- 八島邦夫, 今井健三, 西沢邦和 (1982) 100万分の1海底地形図「北海道」・「東北日本」と海底地形, 水路部研究報告, 17, pp. 93–162.
- 安田喜憲, 成田健一 (1981) 日本列島における最終氷期以降の植生回復元への一資料, 地理学評論, 54, 7, pp. 369–381.
- 矢崎清貫 (1976) 日本油田・ガス田分布図 第2版, 200万分の1地質編集図, 9, 地質調査所.
- 横山英二, 松波武雄 (1998) 北海道の温泉付随ガス, 地下資源調査所報告, 69, pp. 75–91.
- 横山 光, 八幡正弘, 岡村 聡, 西戸裕嗣 (2003) 西南北海道, 赤井川カルデラの火山層序とカルデラ形成史, 岩石鉱物科学, 32, pp. 80–95.
- 米田哲朗, 大河原正文, 渡辺 隆 (1999) 北海道積丹半島豊浜トンネル付近の水冷火砕岩に産するスメクタイト, 粘土科学, 39, 2, pp. 53–64.
- 米田哲朗, 林 謙二, ダカール ゴネス, 柏谷公希, 金子勝比古 (2002) 北海道積丹半島における火砕岩の特性と岩盤崩壊の要因について, 地すべり, 39, 1, pp. 14–21.
- 米倉伸之, 貝塚爽平, 野上道男, 鎮西清高編 (2001) 日本の地形1 総説, 東京大学出版会.
- Yoo, S., Lee, C. (2020) Correlation of Quaternary volcano clusters with partial melting of mantle wedge, Northeast Japan: A numerical model study, Geophysical Research Letters, 47, e2019GL086205, doi: 10.1029/2019GL086205.
- 吉村豊文 (1942) 北海道稻倉石鑛山鑛床調査概報, 地質調査所輯報別輯, 1, pp. 28–30.
- Yu, Z., Zhao, D. (2020) Seismic evidence for water transportation in the forearc off Northern Japan, Journal of Geophysical Research: Solid Earth, 125, doi: 10.1029/2019JB018600.

## Z

- Zhao, D., Hasegawa, A. (1993) P wave tomographic imaging of the crust and upper mantle beneath the Japan Islands, Journal of Geophysical Research: Solid Earth, 98, pp. 4333–4353.
- Zhao, D., Hasegawa, A., Kanamori, H. (1994) Deep structure of Japan subduction zone as derived from local, regional, and teleseismic events, Journal of Geophysical Research: Solid Earth, 99, pp. 22313–22329.
- Zhao, D., Yanada, T., Hasegawa, A., Umino, N., Wei, W. (2012) Imaging the subducting slabs and mantle upwelling under the Japan Islands, Geophysical Journal International, 190, pp. 816–828.

## その他

- 鉱業原簿および鉱区図, 北海道経済産業局.